

平成 27 年度

# 事業報告書

《社会福祉法人ふたば会》

急速に進展する少子高齢化と財政赤字が増大する中で、社会保障と税の一体改革を推し進めて持続可能性のある社会保障制度の構築が推し進められている。

この状況下で、平成27年度は介護報酬の改定が行われ、平均で2.27%減額されるという非常に厳しい経営環境となった。

当法人の事業経営においても、収入減を前提とした事業実施となり、人員の配置、経常経費の削減、利用率の向上を図った。特に、デイサービス事業の実施については、利用状況の低迷と大幅な報酬削減に対応するため、デイサービスセンターふたば荘を休止にして、事業をデイサービスセンターふたばの森に統合した。結果、財務状況は黒字に改善されたが、平成29年度から予防が新居浜市の地域支援事業になることと要介護1、2の軽度者も移行する可能性があることを考慮すると、事業内容をどのように改善してそれに対応していくかという大きな課題がある。

また、その他の事業についても収支状況は悪化しており、低報酬下での経営の安定をより図る必要がある。その中でも、大きな命題となっている人材の確保、育成にどのように取り組んでいくかという課題があるが、27年度に取り組んだ介護労働安定センターの新人定着プログラムで得たノウハウを今後も引き続き活用していくことや新たに始まるであろう外国人労働者技能実習制度の活用等も検討していく必要がある。

そして、もう一つの大きな命題である利用者の確保の困難性についても、営業活動をどう進めるか、また、売りとなるサービスをどう確立するかという課題がある。27年度も、重度化への対応、看取り、認知症ケアの充実を中心としてサービスの高品質化に取り組んできたが、特に差別化が図れたという段階ではない。今後とも多職種協働で、「ふたば会ならではの」というサービスを創造していきたい。

それから、法人内事業として入所系と在宅系のサービスがあるが、両者が一体的に連携して組織として地域福祉へ貢献できるようにしてきたが、これからより確立が図られるであろう「地域包括ケアシステム」にどのように関わっていくか、存在価値を発揮するかという重要課題がある。特にこれからは、要介護者だけでなく、軽度者あるいは自立した人との関わりをどう構築するかということが重要かつ必要になるので、これまでの事業実績を土台に取り組みを充実させていきたい。

# 1.施設の概要

## 法人の沿革

昭和53年	8月	4日	社会福祉法人ふたば会設立
昭和54年	4月	5日	特別養護老人ホームふたば荘開設（定員50人）
昭和57年	4月	1日	特別養護老人ホームふたば荘定員80人変更開所
平成9年	4月	1日	デイサービスセンターふたば荘及び 在宅介護支援センターふたば荘事業開始
平成11年	10月	25日	居宅介護支援事業指定（3870500174）
平成12年	1月	5日	訪問入浴介護事業指定（3870500232）
平成12年	2月	25日	通所介護事業指定（3870500323）
平成12年	3月	17日	短期入所生活介護事業指定（3870500505）
平成12年	4月	1日	介護老人福祉施設指定（3870500570）
平成19年	9月	30日	訪問入浴介護事業廃止
平成23年	4月	19日	特別養護老人ホームふたばの森設置認可
平成23年	4月	22日	特別養護老人ホームふたばの森指定（3890500238）
		〃	グループホームふたばの森指定（3890500220）
平成23年	4月	28日	ショートステイふたばの森指定（3870502162）
		〃	デイサービスセンターふたばの森指定（3870502154）
平成23年	5月	1日	ふたばの森各事業所事業開始
平成27年	5月	31日	デイサービスセンターふたば荘事業休止

## 法人の土地・建物・定員

【所在地】 新居浜市船木字上原甲959番地1～4，962番地

【敷地面積】 11,106.61㎡

《特別養護老人ホームふたば荘》

（補助）

（建物構造） 鉄筋コンクリート造一部2階建

日本自転車振興会

（建物面積） 1,999.68㎡

193,220千円

（定員） 80人

新居浜市

15,000千円

《デイサービスセンターふたば荘》

（建物構造） 鉄骨造平屋建

（補助）

（建物面積） 396.25㎡

国庫補助

（定員） 35人

44,639千円

《在宅介護支援センターふたば荘》

(建物構造) 鉄骨造平屋建

(建物面積) 71.15㎡

県補助

22,319千円

新居浜市

14,870千円

【所在地】 新居浜市船木字元船木甲3101番地1、甲3102番地2、  
甲3098番地

【敷地面積】 4,552㎡

《特別養護老人ホームふたばの森》

(建物構造) 鉄骨造2階建

(建物面積) 1,903.82㎡

(定員) 29人

(補助)

新居浜市

177,975千円

《ショートステイふたばの森》

(建物構造) 鉄骨造2階建

(建物面積) 496.44㎡

(定員) 16人

《デイサービスセンターふたばの森》

(建物構造) 鉄骨造2階建

(建物面積) 287.4㎡

(定員) 30人

【所在地】 新居浜市船木字元船木甲2999番地7、甲3001番地3

【敷地面積】 999.37㎡

《グループホームふたばの森》

(建物構造) 鉄骨造2階建

(建物面積) 665.85㎡

(定員) 18人

(補助)

新居浜市

52,612千円

## 2. 職員現員

### ふたば荘

(平成28年3月31日現在)

職員部門	特養 (ショート含)	デイサービス	支援センター	居宅介護	合計
施設長	1				1
総務副部長	1				1
事務員	1				1
生活相談員	2				2
業務部長	1<1>				1<1>
機能訓練指導員	1				1
ソーシャルワーカー			1<1>		1<1>
介護支援専門員	1<1>			4	5<1>
介護部長	1				1
主任介護職員	2<1>				2<1>
介護職員	35(5)【8】				35(5)【8】
医師(嘱託)	3(3)				3(3)
看護職員	4				4
栄養士	1(1)				1(1)
調理員	9(1)【1】				9(1)【1】
合計	61(10)【6】<2>		1<1>	4	66(10)【6】<3>
【業務委託】					
運転手					
宿直員	3				3
介助員					
清掃員	1				1
合計	4				4

※ ( ) 嘱託      【 】 パート      < > 兼務

# ふたばの森

(平成28年3月31日現在)

職員部門	特養	デイサービス	ショート	グループホーム	合計
施設長	1				1
事務員	1				1
主任生活相談員	1				1
生活相談員	2<1>	3<2>	2<1>		5<2>
管理者				1	1
機能訓練指導員					1
介護支援専門員	2<2>				2<2>
介護職員	16(2)	6<1>	6	14【3】	41(2)【3】<1>
医師(嘱託)	3(3)				3(3)
看護職員	3<1>	2		1<1>	5<1>
栄養士	2<1>				2<1>
合計	28(5)<5>	10<3>	7	15【3】<1>	60(5)【3】<5>
【業務委託】					
宿直員	3				3
調理員	6				6
清掃員	2				2
合計	11				11

※ ( ) 嘱託      【 】 パート      < > 兼務

特別養護老人ホーム  
短期入所生活介護事業所  
デイサービスセンター  
在宅介護支援センター  
居宅介護支援事業所

ふたば荘

# 特別養護老人ホームふたば荘

## 1. 総務及び経理

総合目標及び課題

事務の効率化及び適切な予算管理に努めた。

目標及び課題	成果等
(1) 事務処理の効率化	① 労務関係の事務手続きについては、適時行った。 ② 消耗品・備品等の発注業務については、適時行えた。
(2) 介護報酬改定への対応及び予算管理の適切な執行	① 介護報酬改定の影響により、減収となった。要因としては、稼働率の低下、加算算定の要件を満たすことが出来なかったことが考えられる。しかし、デイサービスセンターを6月度に統合・居宅人員・予算執行の見直しを行うことにより、当初段階と比較して増益となった。 ② ふたば荘建替に備え、建設積立金を2,000万円計上した。 ③ 事業所内託児所を検討したが、現状の経営状況では実施が困難であると結論づけ、次年度以降の課題となった。
(3) 会計処理の充実	① 利用料の請求については、一部未収となっており次年度以降の課題となった。
(4) 施設管理の充実	① 入浴機器・衣類乾燥機など、老朽化の影響により保守・修繕を行った。 ② 厨房空調機については、老朽化により故障し修繕が出来なかったため、補正予算を編成し、事業費約204万円にて更新した。 ③ 簡易な修繕については、各担当者に伝達指導を男行うことが出来なかったため、次年度以降の課題となった。
(5) 労働衛生の充実	① 長期休業を必要とする労働災害が1件発生したが、すみやかに再発防止策を講じることが行えた。 ② 感染委員会が中心となり、感染予防に努めた結果感染症の予防を行えた。



## 2. 相談及び援助

### 総合目標及び課題

利用者がその人らしい生活を送れるよう、多職種や家族・地域と連携・協働してサービスが提供できるよう努めた。

目標及び課題	成果等
<p>(1) 特養入所の稼働率の維持・向上のための取り組み</p> <p>(2) 入退所の迅速な支援と対応</p>	<p>① 平成 27 年度、特養平均稼働率 90.1 % (75.7 名) との結果となり、目標達成には至らなかった。 要因としては、入院者の増加、頻回な入退所に対して新規入所者の確保が難しかった事が考えられる。</p> <p>① 3 ヶ月に 1 度、入所判定委員会を開催し、待機順位を決定するも、入所保留者が多く、短期間での頻回な退所に対して、迅速な新規入所に繋げる事ができなかった。その為、退所後の空床期間が長期化する結果となった。重度対象者については、医療行為等に留意し、調整する事ができた。</p> <p>② 受診等の際に、入院者の状況把握に努め、適切な退院支援を行う事はできたが、体調不良による入院者は増加しており、施設での健康管理、医療対応については主治医及び看護職員との協議、調整が次年度以降の課題となりました。</p> <p>③ 申請者等から希望があれば、施設見学や事前説明を行う事はできたが、順番が回ってきた際に、急な声かけになってしまった場合もあり、事前の調整には改善が必要だと感じる事もあった。</p> <p>④ 退所の発生が予測可能な段階では、待機者に対して状況確認を行えたが、意思確認直前で他施設に入所された場合も多く、より細かい状況確認が必要であると感じた。</p> <p>⑤ 体調不良者に対しては、看護職員から情報提供を受け、家族への情報提供や意思確認を行う事ができた。</p> <p>⑥ 夜間の頻回な医療対応が必要な入所者に対しては、医療機関と連携、調整する事で適切な退所支援を行う事ができた。その過程では、家族と一緒に転院先の医療機関から説明を受ける等、家族の希望に合わせた精神的ケアを行う事ができた。</p> <p>⑦ 今年度は、在宅復帰の機会は無かった。</p>

<p>(3) 短期入所生活介護の稼働率の維持・向上への取り組み</p>	<p>① 空床利用率 2.0 人の目標に対して 0.4 人であった。過去の実績値を分析し、今後は目標値の精度を上げると共に、利用者の増加策の考案・実施に努める。</p> <p>② ホームページの活用については、利用者人数の増加に直結しないと判断し、毎月の居宅へ実績配布時に営業活動を行った。土日祝祭日の送迎・送迎時間の家族要望への調整・前日申込みへの対応をアピールした。</p> <p>③ 「ふたば荘ショートステイのご案内」資料を作成し、介護者の家庭の突発的な事情（病気・仕事・外泊等）に考慮できるよう各居宅へ配布・宣伝活動を行った。</p> <p>④ 新規利用者や緊急性の高い利用者受け入れの為に、多職種と連携して情報共有することができた。</p>
<p>(4) 相談援助技術の向上</p>	<p>① 基本的には利用者・家族に対して速やかな報告、連絡を行う事ができた。しかし、事故発生時の報告が遅れ、重大事故に繋がった際には、家族より苦情相談を受ける結果となった場合もあり、より正確な対応が必要であると感じた。その為、事故の程度に関わらず、迅速な報告を徹底することが次年度以降の課題となった。</p>
<p>(5) 社会資源を活用したボランティアの受け入れ</p>	<p>① ふたばクラブ 21 の活動や個別ボランティアに対しての受入は行えており、ボランティア手帳の活用にも繋げる事ができた。</p>
<p>(6) 利用者・家族・施設間の円滑な支援と調整</p>	<p>① 利用者毎に相談、連絡が必要な場合は、適宜対応する事はできたが、上記のような苦情・相談に繋がった場合もあり、より迅速な対応を行うことが次年度以降の課題となりました。</p> <p>また、利用料に関わる申請要件の変更に対しては、家族会や通知を活用する事で適切な説明、援助を行う事ができた。</p>

### 3. 介 護

#### 総合目標及び課題

- ・各種研修や学習会に参加することで個人のスキルを高め安心と満足を実感していただけるような介護サービスを提供に努めた。
- ・一人一人に合わせた個別行事、外出などを取り入れ、楽しみのある施設生活を提供に努めた。

目標及び課題	成果等
<p>(1) 個別ケアの充実</p> <p>(2) 統一したサービス支援の提供</p> <p>(3) 楽しみに向けての取り組み</p> <p>(4) 接遇の共通認識</p>	<p>カンファレンスでケアプランについて話し合いを持ち、より具体的な対応を一人ひとり検討した。</p> <p>① 夜勤から、夜間の様子や引き継ぎ事項の伝達を受け、各グループの日直がグループ職員に引継ぎを行った。</p> <p>② 日中にあったことは、日誌に手書きで記載して引継ぎを行った。</p> <p>季節行事、各グループ行事には他の職種の協力を得て盛り上げている。春の花見は天気に恵まれず車中からの見物とドライブになったが、不穏症状のある利用者も楽しまれていた様子であった。また、夏の盆踊りはたくさんのボランティアにお手伝いいただき利用者も賑やかに過ごすことが出来た。そのほか、毎月の行事にも取り組んだ。</p> <p>平成 27 年度の接遇の勉強会、および新人職員定着プロジェクトに参加して職場改善に取り組んでいる最中である。今後、プロジェクト・研修で学んだことを次年度以降に活かして利用者がふたば荘のスローガンに基づいた生活が出来るように研鑽していく。</p>

・すみれグループ

<p>「～心ふれあい笑顔咲く～」をスローガンとし、次のことを具体的に取り組みます。</p>	<p>① 笑顔での接遇を心掛け、接遇時の声掛けや傾聴を通し利用者の思いや要望を知ることができた。</p> <p>② 1 年を通し前半は計画が天候に左右され実行できないことが多かった。後半は少人数ずつの外気浴や散歩、外出などに取り組みコミュニケーションを図れた。</p> <p>③ 関わり都度状態観察を行い、変化を察知した場合は速やかに医務に報告し、医務指示のもと状態観察を行った。</p> <p>④ 朝礼などの引き継ぎ事項として情報伝達してきたが、個々の状態に合わせたケアに関しては統一できていないところが見られた（周知徹底できる工夫が必要）。</p> <p>⑤ 利用者・家族からの要望は真摯に受け止め、グループ全体で話し合い実現に向け取り組めた。</p>
---	--

・たんぼぼグループ

<p>スローガンを『笑顔で満足！共に感動！』とし、次のことを具体的に取り組みます。</p>	<p>① 職員から寄り添い・手を握ったりし触れ合いながら話をする時間を持つ様に努めた。共感する事で馴染みの関係になり思いや気持ちを職員に伝えやすい様にし、楽しく生活が出来る様な居場所作りに努めた。</p> <p>② 話す事が難しい利用者の思いも感じ取れる様に、日々状態を観察し小さな変化にも気づける様に努めた。満足して頂ける生活環境を作れる様に努めたが、人数に対してリビングが狭いなどの問題があり、十分な対応が出来なかった部分もあった。</p> <p>③ たんぼぼクッキングを行う事は出来ていたが、開催出来た回数は少なかった。マンパワー不足などもあり、十分に行えなかった為、今後はグループのみではなく、他グループと連携を行いながら実施していきたい。</p> <p>④ グループでは、職員と一緒に塗り絵などの作品を作ったりし会話をしながら楽しむ事が出来た。荘内行事にも多くの利用者が参加出来るように努め、生活の中で楽しむ機会を多く作れるようにした。</p> <p>⑤ ADLの向上・維持または低下を防ぐ為に、個々の能力を把握しカンファレンスにてケアプランに反映し職員全体で取り組みが行えるように努めた。また、介護力向上の取り組みも積極的に行った。</p>
---	--

・ひまわりグループ

<p>「笑顔で！生き生き！」をスローガンとし、次のことを具体的に取り組みます。</p>	<p>① 職員が利用者に積極的に声掛けを行い、要望を聞くように努めた。</p> <p>② 個別行事計画は、上半期は実施できていましたが、下半期はマンパワー不足にて実施が難しい状況でした。</p> <p>③ 個人の要望を聞いたり、季節に合わせて好みの飲み物を提供を行っていましたが、体調不良の利用者もあり、1日1,500cc以上の飲水量には個人差が見られました。</p> <p>④ 毎朝、利用者全員参加はできていませんが、職員と一緒に楽しみながらラジオ体操を実施しました。参加人数も徐々に増え定着していました。</p> <p>⑤ ご自分で出来ることはしていただき、出来ないところはお手伝いさせていただきながら、自立した生活が送れるように支援を行い、ADLの向上に努めた。</p>
---	--

	<p>⑥ 入室都度利用者の日常生活の様子や健康状態を観察しています。定時検温や状態に変化が見られた時は速やかにバイタルチェックを行い、医務と連携し早期発見・早期治療に繋げた。</p>
--	---

## 4. 厨房

総合目標及び課題

- ・利用者が、健康で安定した生活が送れるよう、適切で安全な食事の提供に努めた。
- ・食べることの楽しみと満足をしていただける、美味しい食事の提供に努めた。

目標及び課題	成果等
(1) 栄養ケアの実践	<p>個々のニーズに応じた栄養ケアプランを実践し、栄養状態が向上することにより、健康状態が安定し、日々の生活を維持することができた。反面、高齢のため消化、吸収機能が低下し、栄養状態が上がらず体調に変化をきたす等の課題もあり、今後もより細やかな栄養ケアプランを実践しなければならないと感じた。</p>
(2) 摂食、嚥下機能に応じた食事の提供	<p>摂食、嚥下機能はできる限り維持できるよう口腔ケアを実施しているが、口腔機能は年齢とともに変化し、誤嚥のリスクも高くなるため、個々にあった食形態で、安全で無理なく摂取できる食事の提供を行った。</p>
(3) 楽しみのあるおいしい食事の提供	<p>毎月の楽しみである行事食や旬の新鮮な食材を使い、味にこだわった手作りの食事、肉料理や魚料理等が選択できる食事の提供をおこなった。</p>
(4) 安全な食事の提供	<p>食材の温度管理や衛生的な取り扱いに留意し、食中毒などを起こさないよう徹底した。</p>

## 5. 機能訓練

総合目標及び課題

- ・利用者の心身の諸機能の維持回復を図るため、各々個別訓練計画書を作成し、その計画に基づき各専門職との協働により実践に努めた。
- ・介護力向上講習会の継続として、科学的介護実践に基づき利用者の自立支援のため実践に努めた。

目標及び課題	成果等
(1) 生活リハビリの充実	利用者の重度化に伴い、一人ひとりに訓練時間がかかり効率的な対応に課題を残した。一人で訓練できる人数も限りがあり、今後は介護への連携、引き継ぎなども検討する必要性を感じた。
(2) 介護力向上講習会取り組みの継続	本年度で4年目の取り組みであり、月1回の介護力向上委員会で各グループからの報告をもとに課題を見つけていったが、オムツ外し、トイレでの排便も頭打ちで目立った効果が期待できなかった。

## 6. 健康管理

### 総合目標及び課題

・入所者の疾病を理解し、安心出来る居心地の良い場所を提供し、安心して満足な生活が送れるよう嘱託医と連携し、健康状態の維持や悪化予防に努めた。

・看取りにおいては、住み慣れた施設で最期を迎えたいと思う利用者やその家族の思いと、最期までその人らしい暮らしを支え、看取りたいと願う職員の思いを大切にしながら利用者一人ひとりの尊厳を守り、命に向き合い穏やかな最期を看取れるように努めた。

目標及び課題	成果等
(1) 日常生活の健康管理	① 年2回の健康診断にて異常の早期発見や悪化防止に努めた。 ② 利用者や家族の希望により専門医受診に対応し、早期治療に努めた。
(2) 他職種との連携	① 朝礼にて利用者の夜間の状況把握に努め、状態の悪化を予測し、早期対応に努めた。
(3) 薬剤・投薬の適切な管理	① 服薬管理マニュアルに基づき、誤薬予防、誤薬時の早期対処に努めた。
(4) 職員への医療教育	① 感染、褥瘡、看取り、緊急時の対応についての内部研修を実施し、職員のスキルアップに努めた。

7. 職員研修参加状況(特別養護老人ホーム)

月	日	内 容	場 所	出席者
4	14	新居浜市 認定調査員新任者向け研修	市内	介護主任
	22	新居浜市 認定調査員新任者向け研修	市内	介護部長
	23	東予地区老施協第1回総会・施設長研修会	松山市	施設長・総務副部長
5	22	県老施協 第1回総会・施設長会	松山市	施設長
6	8	第11回愛媛県老人福祉施設大会	松山市	施設長・看護部長・総務副部長・介護主任
	9	県社協「福祉の職場」新任職員研修会	松山市	生活相談員1名・介護職員1名
	17	東予老施協新任職員研修会	今治市	介護職員1名
	17	労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度の取り組みのポイントと職場の安全配慮業務	松山市	介護部長
	19	リフレ排泄セミナー 利用者様の心をひらく接遇「おもてなしの仕事術」	松山市	介護副グループ長1名
	30	市社協 第1回職員スキルアップ講座	市内	介護主任
7	15	県社協「福祉の職場」中堅職員研修会	松山市	介護主任
	16	サービス向上研修会「コミュニケーションスキルアップ」	松山市	介護職員1名・事務員1名・生活相談員1名
	17	介護労働安定センター「雇用管理責任者講習」	市内	施設長
	26	えひめ排泄ケア研究会 第一回東予地区勉強会参	市内	介護主任
	28`29	第64回四国老人福祉施設関係者研究大会	高松市	施設長・業務部長・栄養管理部長・介護主任
8	3`5	愛媛県喀痰吸引等(不特定の者対象)研修	松山市	介護職員1名
	10	愛媛県喀痰吸引等(不特定の者対象)研修	松山市	介護職員1名
	12`13	愛媛県喀痰吸引等(不特定の者対象)研修	松山市	介護職員1名
	20	東予老施協事務職員研修会	今治市	事務員1名
	24`25	全国老施協 夏季セミナー	東京	施設長
	31	愛媛県喀痰吸引等(不特定の者対象)研修	松山市	介護職員1名
9	1`3	愛媛県喀痰吸引等(不特定の者対象)研修	松山市	介護職員1名
	8	施設ケアマネジメント研修会	松山市	介護主任1名
	11	愛媛県喀痰吸引等(不特定の者対象)研修	松山市	介護職員1名
	12`13	介護支援専門員特別研修(医療基礎知識編)	松山市	介護主任1名
	14	東予地区老人福祉施設協議会介護職員研修会	今治市	調理員1名
	17	東予地区老人福祉施設協議会第1回介護職員研修会	今治市	介護主任1名
	20	介護支援専門員特別研修(医療基礎知識編)	松山市	介護主任1名
	28	東予地区老人福祉施設協議会生活相談員研修会	今治市	生活相談員1名
10	5`8	全国老人福祉施設研究会議山形会議	山形県山形市	介護職員1名
	6	第63回愛媛県社会福祉大会	松山市	施設長
	27	介護労働安定センター マネジメント向上研修	市内	施設長・介護部長・業務部長・総務副部長
	28	東予老人地区福祉施設協議会 栄養士研修会	今治市	栄養管理部長
	30	東予地区老人福祉施設協議会 機能訓練指導員研修会	市内	業務部長
11	5	愛媛県老施協 第1回認知症ケア研修会(初級)	松山市	介護副グループ長1名
	7	東予老人福祉施設協議会 第2回介護職員研修会	今治市	介護主任1名
	11`13	全国老人福祉施設協議会 東京大会	東京都	施設長
	22	愛媛県老人福祉施設協議会 看取り研修会	松山市	看護部長
	27	愛媛県老施協第2回認知症ケア研修会	松山市	介護副グループ長1名
	27	福祉施設協議会第2回職員スキルアップ研修会「ストレスチェック導入セミナー」	市内	施設長・総務副部長
12	8	腰痛予防対策講習会	市内	介護副グループ長1名
	9`10	四国ブロックカントリーミーティング	松山市	生活相談員1名
	11	第5回サービス向上講習会「適切な介護記録の作成」	松山市	介護主任1名
	16	愛媛県老施協 口腔ケア研修会	松山市	介護職員1名
1	14	介護労働安定センター 第2回マネジメント能力向上研修	市内	業務部長・介護部長・総務副部長
	15	愛媛県老施協 多職種連携研修会	松山市	介護副グループ長1名
	29	愛媛県老施協 臨時総会・施設長研修会	松山市	施設長
2	3	特定給食施設等関係者研修会	西条市	栄養管理部長
	8	東予地区老人福祉施設協議会 看護職員研修会	四国中央市	看護職員1名
	16~17	第14回四国老施協セミナー	徳島市	施設長
	24	東予地区老人福祉施設協議会 第3回介護職員研修会	今治市	介護職員1名
	26	外国人技能実習生適正受入推進セミナー	松山市	総務副部長
3	4	東予地区老人福祉施設協議会 第2回施設長研修会	今治市	施設長
	9	愛媛県老施協 第2回総会・施設長研修会	松山市	施設長
	10	(株)トーカイ メーカー実技講習会	市内	看護職員1名・介護副グループ長1名
	14	愛媛県老施協「福祉の職場」新任職員研修会「第2回」	松山市	介護職員1名

## 8. 事業実施状況

月	保 健 衛 生	施 設 管 理	施 設 整 備 等	職 員 厚 生	そ の 他
4	/30 職員検便(69名) /30 調理員検便(10名)	/4 電気設備点検 /8 奉仕デー /15 暖房停止 /22 倉庫整理		/11 お花見【歓送迎会】(79名)	
5	/1~31 職員健康診断(64名) /26 調理員検便(10名) /14 寝具納品 /21 寝具引取	/13 奉仕デー	/22 ファイルサーバー更新 /25 デジタルコピー機更新		/11 避難訓練
6	/27 調理員検便(10名)	/4 空調設備清掃点検 /4 奉仕デー /4 全館ワックスがけ /12 消防設備点検 /15 冷房開始			/24 内部学習会「食中毒の予防に関する研修」
7	/27 調理員検便(10名)	/16 奉仕デー			/10 はあとねっと発行 /16 内部学習会「口腔ケア実践研修」
8	/29 調理員検便(10名)	/5 奉仕デー /8 受水槽立ち入り検査 /8 電気設備点検			/4~6 新居浜ワークキャンプ(5名) /15 船木夏祭り
9	/16 結核健診レントゲン撮影(76名) /19 寝具納品 /24 寝具引取 /24 調理員検便(10名)	/2 奉仕デー /16 全館ワックスがけ /15 冷房停止			/10 はあとねっと発行 /29 内部学習会「看取りの研修」
10	/1~31 職員健康診断(25名) /27 調理員検便(10名)	/7 奉仕デー /7 浄化槽清掃 /24 電気設備点検		/ 2 ビール会(31名)	/21 内部学習会「褥瘡予防に関する研修」
11	/6~30 インフルエンザ予防接種(職員56名入居者 71名) /6 入居者健康診断(71名)	/4 奉仕デー /14 受水槽清掃 /15 暖房開始			/10 はあとねっと発行 /17 総合避難訓練 /19 内部学習会「高齢者の薬に関する研修」
12	/22 調理員検便(10名)	/1 電気設備点検 /2 奉仕デー /16 全館ワックスがけ /25 消防設備点検		/17 忘年会(79名) 永年勤続者表彰 (20年);1名 (15年);5名 (10年);2名	/21 内部学習会「第10回施設内実践報告」
1	/26 調理員検便(10名)	/6 奉仕デー /8 消防設備点検			/10 はあとねっと発行 /28 内部学習会「感染症予防に関する研修」
2	/29 調理員検便(10名)	/2 電気設備点検 /3 奉仕デー			
3	/31 調理員検便(10名)	/9 奉仕デー /16 全館ワックスがけ	/10 デジタル体重計更新 /14 厨房空調機更新 /30 電動ベッド2台更新 /30 居宅パソコン更新		/10 はあとねっと発行 /31 内部学習会「事故防止に関する研修」



## 9.特養利用者の概要

### (1)利用者の状況

平成28年3月31日現在

#### 保険者別入所状況

保険者別	男	女	計
新居浜市	20	47	67
西条市	1	0	1
四国中央市	2	4	6
今治市	0	2	2
松山市	0	1	1
宇和島市	0	1	1
大阪市	0	1	1
合計	23	56	79

介護保険法施行後入所した利用者は内79名となっている。(旧措置者は0名である。)

#### 在所期間の状況

期 間	男	女	計	比率(%)
20年以上	0	0	0	0.0%
15年以上～20年未満	0	0	0	0.0%
10年以上～15年未満	1	6	7	8.9%
7年以上～10年未満	1	4	5	6.3%
5年以上～7年未満	3	5	8	10.1%
3年以上～5年未満	2	12	14	17.7%
1年以上～3年未満	10	23	33	41.8%
1年未満	6	6	12	15.2%
合 計	23	56	79	100.0%

利用期間が3年未満の方で全体の60.8%を占め、全利用者の平均利用期間は2.8年となっている。

#### 年齢構成

区分	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	合計	平均年齢
男	5	2	1	1	5	4	3	2	23	79.1
女	1	0	5	4	15	12	16	3	56	85.5
合計	6	2	6	5	20	16	19	5	79	83.6

①90歳以上の利用者は全体の29.1%を占めており、平均年齢は約83.4歳となっている。

②最高齢者は、男性97歳、女性98歳で、最も若い利用者は、男性45歳、女性64歳である。

## 要介護度の状況

〔要介護度〕

介護度	年齢区分	自立	支援	1	2	3	4	5	合計	平均
男性	40～64歳	0	0	1	0	1	3	0	5	3.00
	65～69歳	0	0	0	0	0	1	1	2	4.50
	70～74歳	0	0	0	0	0	1	0	1	4.00
	75～79歳	0	0	0	0	0	1	0	1	4.00
	80～84歳	0	0	0	0	1	2	2	5	4.20
	85歳以上	0	0	0	1	0	4	4	9	4.22
女性	40～64歳	0	0	0	0	0	0	1	1	5.00
	65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	70～74歳	0	0	0	0	0	4	1	5	4.20
	75～79歳	0	0	0	1	0	2	1	4	3.75
	80～84歳	0	0	0	1	1	9	4	15	4.07
	85歳以上	0	0	0	1	8	9	13	31	4.10
	男 性	0	0	1	1	2	12	7	23	3.96
	女 性	0	0	0	3	9	24	20	56	4.09
	合 計	0	0	1	4	11	36	27	79	4.06
	前年度実績	0	0	0	6	10	34	27	77	4.06

利用者の要介護度は、5に認定された方が全体の34.2%を占めており、平均要介護度4.06 となっており、前年度実績4.06 と同じである。

## (2)入退所状況

### 利用者状況

〔月別新規入所者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	2	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	3	12
女	2	0	5	1	0	0	1	2	0	1	0	2	14
計	4	1	5	2	0	1	1	3	1	2	1	5	26

〔入所前住居〕

区分	在宅	病 院			介護施設			その他施設	合計
		一般病棟	精神病棟	療養病棟	介護療養施設	老人保健施設	特別養護老人ホーム		
男	2	1	3	4	0	1	0	0	11
女	6	0	3	1	0	1	2	2	15
計	8	1	6	5	0	2	2	2	26

全利用者のうち69.2%の利用者の方が施設・病院等からの入所である。

〔新規利用者世帯状況〕

	単身	夫婦	未婚子同居	既婚子同居	その他	合計
男	8	2	1	1	0	12
女	5	2	2	4	1	14
計	13	4	3	5	1	26

退所者状況

〔退所理由〕

	家庭復帰	入院継続	転居	死亡(施設)	死亡(病院)	合計
男	0	0	0	5	5	10
女	0	1	0	10	3	14
計	0	1	0	15	8	24

〔月別退所者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	1	1	0	0	0	1	0	2	1	0	1	3	10
女	1	1	4	1	0	0	2	0	1	1	0	3	14
計	2	2	4	1	0	1	2	2	2	1	1	6	24

24名の方が退所となり、その内死亡による退所は23人となっている。

(3)日常生活動作状況・生活自立度・認知症の判定

日常生活動作の状況

[利用者79名]

項目	動作内容	男	女	計	項目	動作内容	男	女	計
移動	時間がかかっても介助なしに一人で歩く	3	6	9	入浴	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	3	3	6
	手を貸してもらするなど一部介助を要する	8	19	27		体を洗ってもらするなど一部介助を要する	8	28	36
	全面的に介護を要する	12	31	43		全面的に介護を要する	12	25	37
食事	やや時間がかかっても介助なしに食事する	15	20	35	着替	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	3	5	8
	おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	4	26	30		袖を通してもらうなど一部介助を要する	10	29	39
	全面的に介護を要する	4	10	14		全面的に介護を要する	10	22	32
排泄	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	4	4	8	整容	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	4	7	11
	便器に座らせてもらうなど一部介助を要する	10	31	41		タオルで顔をふいてもらうなど一部介助を要する	11	29	40
	全面的に介護を要する	9	21	30		全面的に介護を要する	8	20	28

食事以外の日常生活動作は、全介助の方が多く利用者の方の重度化が顕著に表れている。

## 日常生活自立度（寝たきり度）

[利用者79名]

ランク J 生活自立	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。	
	1 交通機関等を利用して外出する。	0
	2 隣近所なら外出する。	0
ランク A 準寝たきり	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。	
	1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。	26
	2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。	4
ランク B 寝たきり	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ。	
	1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。	14
	2 介助により車椅子に移乗する。	19
ランク C 寝たきり	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。	
	1 自力で寝返りをうつ。	6
	2 自力では寝返りもうたない。	10

寝たきりに当てはまるランク B・Cの利用者の方で全体の62.0%を占め、重度化が認められるが、昨年度の83.5%から大幅に改善されている。

## 認知症老人の日常生活自立度判定

[利用者79名]

項 目	痴 呆 の 程 度	
正 常	認知症の症状無し	0
ランク I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	9
ランク II	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。	
	a 家庭外で上記IIの状態が見られる。	13
	b 家庭内でも上記IIの状態が見られる。	8
ランク III	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。	
	a 日中を中心として、上記IIIの状態が見られる。	24
	b 夜間を中心として、上記IIIの状態が見られる。	5
ランク IV	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。	17
ランク M	著しい精神症状や問題行動やあるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	3

79名の内、ランク III以上に位置づけされる利用者の方は62.0%となっている。

## (4)ケアプラン実施状況

〔ケアプラン：立案状況〕

項目	水分	離床	食事	整容	排泄	生きがいづくり	声かけ コミュニケーション	吸痰	転倒予防
人数	19	18	80	0	18	5	4	6	3
項目	日常生活の援助	入浴	皮膚観察	医療面	姿勢保持	口腔	褥瘡 ハリスク	運動	異常時の家族連携
人数	16	0	8	28	2	80	12	20	25

①個々のケアプランはそれぞれ複数となっているが、その内、最も重要と思われるもの各1を挙げている。

②個々のケアプランについては、包括的自立支援プログラム方式により6ヶ月毎及び状態に応じケアカンファレンスにて見直し立案を行い、サービス計画に基づいて毎日実践し、その状況を記録している。

〔ケアカンファレンス：立案人数／家族参加状況〕

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
立案人数	26	14	28	24	14	20	22	22	19	28	14	23	254
家族数	3	1	8	2	3	0	5	8	8	4	1	7	50

ケアカンファレンス開催時50名のご家族が参加され、家族参加の割合は19.7%となっており本人やご家族の要望等を取り入れながらケアプランに反映させるよう努めている。

## (5)利用者医療状況

### 疾病状況

順	疾病名	人数	順	疾病名	人数
1	便秘症	58	22	拡張型心筋症	2
2	高血圧症	26	23	器質性精神病	2
3	老人性認知症	26	24	総胆管結石	2
4	脳梗塞後遺症	19	25	慢性動脈閉塞症	2
5	脳血管性認知症	21	26	アルコール認知症	2
6	糖尿病	11	27	前立腺肥大	2
7	アルツハイマー病	8	28	膀胱結石	2
8	C型肝炎	9	29	イレウス	3
9	狭心症	9	30	低体温症	2
10	変形性膝関節症	7	31	てんかん	2
11	骨粗しょう症	6	32	胃潰瘍	1
12	鉄性貧血症	6	33	B型肝炎	1
13	知的障害	5	34	横紋筋融解症	2
14	心房細動	5	35	一過性精神障害	3
15	心不全	3	36	うつ病	4
16	排尿障害	4	37	緑内障	3
17	気管支喘息	4	38	乳ガン	5
18	慢性腎不全	4	39	肝膿瘍	7
19	パーキンソン病	4	40	甲状腺機能低下症	8
20	統合失調症	5	41	硬膜下血腫	9
21	変形性腰痛症	3	42	小児麻痺	10
			合 計		317

現在治療中の疾病について、1人で複数の疾病を持っている方が多く、特に高齢者の特徴とも言える習慣性の便秘症が最も多くなっている。

## 受診状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均
実人数	11	11	15	17	13	12	10	16	13	8	12	7	145	12.1	0.4
延人数	13	12	16	20	13	15	11	17	14	9	12	8	160	13.3	0.4

家族の要望での医療機関受診は、積極的に行っている。但し急変による心疾患と頭部疾患、骨折等は、当施設で対応困難である為、医療機関での治療をお願いしている。

## 入院状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均 入院人数
実人数	6	4	8	5	4	7	7	7	13	12	4	5	82	6.8	
延日数	56	94	83	30	61	63	138	109	111	159	21	50	975	81.3	2.7

状態の悪化により、本人や家族の希望で入院することがあるが、家族から終末を施設で迎えたいとの要望がある場合は、説明と同意を得てターミナルケアを実施している。

## 精神科往診

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2.0
実人数	16	14	13	15	15	11	14	12	11	12	12	13	158	13.2
延人数	24	20	24	24	20	11	19	15	11	14	12	14	208	17.3

精神科医の往診が月2回あり、認知症で周辺症状がある場合は、診察を受け、その診断を処遇に生かしている。

## 歯科往診

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
回数	1	0	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	12	1.0
実人数	5	0	9	10	5	7	5	4	6	3	4	4	62	5.2
延人数	5	0	10	11	5	7	5	4	6	3	4	4	64	5.3

木曜日、歯科医師の往診を受け、検診と口腔治療を主に行っている。

## 施設内処置状況

項目/月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
内服	実人数	73	71	69	76	75	71	73	70	71	73	71	70	863
	延べ人数	5657	5502	5175	5700	5812	5325	5600	5250	5764	5678	5218	5618	66,299
注射	実人数	6	11	10	4	5	8	7	12	13	13	10	8	107
	延べ人数	55	75	25	20	15	28	77	58	72	93	117	84	719
インシュリン	実人数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	25
	延べ人数	150	155	150	155	155	90	155	150	150	155	150	225	1,840
浣腸	実人数	46	48	57	52	54	59	48	42	53	48	53	48	608
	延べ人数	105	100	116	143	153	156	115	113	173	134	115	151	1,574

高齢者の特徴である習慣性の便秘症が多く、浣腸の使用頻度が多くなっている。

現在、緩下剤内服調整で、浣腸使用の頻度を減らす方向で行っている。又、身体合併症

(心疾患、高血圧症、e t c) で内服継続の利用者が増えている。

以前に比べ、胃ろう造設者数は減少しているが包交処置はまだ多い。 経管栄養者(胃ろう:9名)

また、看取りケアが増加し、点滴の実施が多かった。

## (6) 身体拘束実施状況

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1. 車椅子拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. チューブ拘束	0	0	27	31	31	30	31	22	12	31	29	31	275
3. つなぎ服拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. ミトン型手袋による拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ日数	0	0	27	31	31	30	31	22	12	31	29	31	275

今年も身体拘束ゼロについては、施設全体で取り組んでおり、身体拘束防止委員会を設置し、利用者の身体拘束を個別に検討し、福祉用具の導入や現在行われている介護を見直し、よりよいケアの実現を目指すよう努力している。委員会メンバーは・施設長・主任事務員・生活相談員・介護部長・介護副部長・看護職員・栄養管理部長・業務部長及び、グループ職員からの構成になっている。今年5/11右脳出血にて病院搬送。治療後経口摂取困難で経鼻栄養のまま退院され抜管予防のためミトン手袋を使用開始になったが、口腔ケア、坐位訓練等に努め6ヶ月で経口摂取が可能になり身体拘束解除。しかし半月後肺炎を併発し再度経口摂取の訓練をケ  
尚、運営基準で利用者の生命又は身体を保護するため、緊急やむを得ない場合を除き、行動を制限する行為を行ってはならないと規定されており、身体拘束などを行う場合には、その対応及び時間、利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録しなければならない。また、その際は、利用者本人や家族に対して詳細な説明と十分な理解を得る必要がある。

### 【拘束例】

1. 車椅子拘束とは、車椅子からずり落ちたり・立ち上がったりにしないようにY字型拘束帯や腰ベルトを使用する事。
2. チューブ拘束とは、点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひもなどで縛る行為。
3. つなぎ服拘束とは、脱衣やオムツはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる行為。
4. その他の拘束とは、自分で降りられないようにベッドを柵（サイドレール）で囲んだり、手指の機能を制限するミトン型の手袋をつけたり、自分の意志で開けることの出来ない居室等に隔離する行為である。

## (7) 機能訓練実施状況

個別機能訓練を行うにあたっては、ケアプランと連動しながら個別機能訓練計画に基づき機能訓練指導員、看護職員、介護職員、生活相談員、その他の職種の者が協働して計画的に実施している。また、機能回復訓練のひとつに、作業療法士が担当するリハビリテーションがあるが、これは医療行為であるために医師の情報提供書、又はリハビリ訓練の指示箋が必要なので、骨折などで入院し、退院後も当施設で継続して訓練が必要な時、又は、新規入所時においても、在宅のリハビリを継続して希望されるときは、かかりつけ医の情報提供書、又はリハビリ指示箋に基づいて実施している。そして、個別機能訓練実施内容については、中間(3月毎)に直接、又は郵送にて本人、家族の方に説明している。

## 〔個別訓練実施内容〕

項目／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
運動療法	実人数	15	14	15	15	15	15	13	14	15	13	14	13	171
	延人数	75	69	82	78	93	66	62	57	61	67	87	67	864
歩行訓練	実人数	12	11	10	10	10	9	9	9	7	7	8	8	110
	延人数	50	51	55	46	59	36	34	31	27	32	31	33	485
物理療法	実人数	15	15	15	15	15	15	13	14	15	14	15	14	175
	延人数	76	79	80	74	91	62	66	63	60	61	80	65	857
ADL訓練	実人数	15	15	15	15	16	16	15	16	16	15	18	15	187
	延人数	76	80	83	75	96	63	68	66	63	70	97	79	916

①脳血管障害等の後遺症、変形性膝関節症、老人性腰痛、骨折の後遺症等の慢性疾患に対し、個別に機能の改善及び維持に努めている。

②訓練内容として・・・

プラットフォーム、ベッドサイドでの徒手的な運動療法、歩行訓練、物理療法、作業療法を実施している。尚、グループケア導入により、個別重視で、個別訓練の時間、回数を増やし、ゆとりある対応、内容の充実で、口腔リハビリ、又ADL訓練の一環として、摂食訓練、車いすへの移動訓練等にも取り組んでいる。

## (8) グループケア実施状況

今年4月より質の高いケアを目指し、利用者のグループ編成（すみれグループ：31名 たんぽぽグループ：20名 ひまわりグループ：29名）や職員の勤務体制の見直しを図り、利用者との多くの関わりを持つことで家庭的な雰囲気、安心した生活が送れるよう個別ケアを行っている。

### 共通行事実施状況

実施日	行事内容	場 所	グループ別 参加利用者数			
			すみれ	たんぽぽ	ひまわり	計
4/3	お花見（車窓）	広瀬公園 他	3	9	12	24
5/14	春の遠足	マリンパーク	2	3	7	12
6/13	和太鼓演奏会見物	えひめ学園	1	3	6	10
7/2	七夕飾り	デイサービスセンター	4	8	13	25
7/24	夕涼み会	ふたば荘中庭	2	17	21	40
8/5	ふたば荘夏祭り	ふたば荘中庭	2	4	18	24
8/15	船木校区盆踊り	船木小学校	1	5	6	12
8/18	お盆の法要	デイサービスセンター	6	11	19	36
9/13	敬老会	デイサービスセンター	13	22	20	55
9/18	観月会	デイサービスセンター	8	1	16	25
9/23	彼岸のお勤め	観音室	2	18	16	36
10/16	太鼓台見物	ふたば荘南側道路	0	16	11	27



10/17	御神輿来荘	ふたば荘中庭	1	18	18	37
10/23	運動会	ふたば荘中庭	3	22	21	46
11/6	秋の遠足	あかがねミュージアム	1	5	4	10
12/4	アザレアコーラス	デイサービスセンター	0	18	21	39
12/7	船木小学校児童来荘	ひまわり・たんぼぼりビング	3	13	16	32
1/4	新年拝賀式	デイサービスセンター	1	14	14	29
1/4	初詣	船木神社	0	0	4	4
1/15	とうど祭り	ふたば荘中庭	3	6	12	21
2/7	賀寿のお祝い	デイサービスセンター	7	14	20	41
3/21	彼岸のお勤め	観音室	0	16	6	22
合 計			63	243	301	607

## クラブ活動 実施状況

(習字クラブ)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
すみれ	0	1	0	0	2	1	1	0	0	1	3	0	9
たんぼぼ	8	7	8	7	9	12	7	7	8	6	13	9	101
ひまわり	17	17	18	18	17	18	18	8	9	11	16	13	180
合計	25	25	26	25	28	31	26	15	17	18	32	22	290

(お茶会)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
すみれ	0	0	0	2	6	0	2	0	3	3	2	0	18
たんぼぼ	15	14	13	16	13	19	14	13	13	12	13	9	164
ひまわり	13	14	19	18	17	17	20	17	15	15	15	13	193
合計	28	28	32	36	36	36	36	30	31	30	30	22	375

(ホーム茶屋)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
すみれ	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
たんぼぼ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひまわり	14	17	19	18	17	19	19	18	22	20	17	19	219
合計	18	17	19	18	17	19	19	18	22	20	17	19	223

(どれみ広場)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
すみれ	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
たんぼぼ	19	21	22	18	22	14	21	20	18	18	19	16	228
ひまわり	13	17	19	17	16	18	19	15	18	19	19	15	205
合計	33	38	41	35	38	33	40	35	36	37	38	32	436

(お楽しみ会)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
すみれ	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	2	1	9
たんぽぽ	2	3	4	3	7	3	4	4	5	6	9	6	56
ひまわり	4	5	5	13	12	6	11	9	9	5	20	13	112
合計	6	8	9	16	19	9	15	14	17	13	31	20	177

## 《すみれグループ》

(入浴実施状況： 2回/週)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
仰臥位入浴	56	197	201	193	190	196	178	155	187	144	167	190	2,054
座位入浴	41	22	35	17	16	13	4	0	6	20	33	27	234
自立補助入浴	41	10	2	18	32	35	27	20	25	9	14	18	251
自立入浴	37	4	0	17	0	0	0	0	0	13	8	9	88
シャワー浴	1	4	1	9	8	9	9	7	9	16	0	0	73
合計	176	237	239	254	246	253	218	182	227	202	222	244	2,700

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
お誕生会		2	2	2	1	0	3	5	4	1	2	2	4	28
外出(ドライブ/外食含む)	3	6	2	6	7	6	6	6	5	3	3	4	5	56
グループ行事	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
合計	5	8	4	7	7	9	11	10	4	5	6	10	86	

月行事： 4月桜見物・他 5月フルーチェづくり 6月おかしづくり 7月花火大会  
8月水ようかんづくり 9月ホットケーキづくり 10月中庭散歩  
11月紅葉見物 12月クリスマスケーキづくり 1月白玉ぜんざいづくり  
2月バレンタインケーキづくり

## 《たんぽぽグループ》

(入浴実施状況： 2回/週)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
仰臥位入浴	56	40	68	53	48	47	51	43	30	32	55	46	569
座位入浴	41	54	60	68	64	75	64	49	27	34	51	41	628
自立補助入浴	41	39	44	36	56	40	49	62	43	40	45	58	553
自立入浴	37	20	26	21	26	24	26	22	13	23	27	23	288
シャワー浴	1	1	1	17	5	0	0	0	0	0	0	1	26
合計	176	154	199	195	199	186	190	176	113	129	178	169	2,064

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
たんぽぽクッキング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
ドライブ(外食を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
お誕生会	3	1	1	1	1	2	2	0	0	4	3	3	21	
合計	3	1	1	1	1	2	2	0	1	5	5	4	26	

## 《ひまわりグループ》

(入浴実施状況)

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
仰臥位入浴	75	84	60	79	70	67	68	61	60	67	70	62	823
座位入浴	65	54	48	50	53	57	68	60	58	46	57	62	678
自立補助入浴	45	40	36	57	57	63	61	67	72	78	70	63	709
自立入浴	26	36	30	36	36	31	27	16	16	38	16	16	324
シャワー浴	0	8	8	0	4	0	0	0	0	7	0	1	28
合計	211	222	182	222	220	218	224	204	206	236	213	204	2,562

(行事・レク実施状況)

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ドライブ(お買い物・外食・映画を含む)	2	2	1	2	3	4	4	2	5	2	6	5	38
お誕生会	3	0	0	0	0	5	2	1	4	2	4	5	26
合計	5	2	1	2	3	9	6	3	9	4	10	10	64

## 面会・外出(家族要望による)・外泊状況

月／項	面 会		外出 人数	外 泊	
	利用者	人数		人数	泊数
4月	186	226	0	0	0
5月	168	230	1	0	0
6月	137	181	3	0	0
7月	137	182	1	0	0
8月	196	272	4	0	0
9月	163	204	5	0	0
10月	169	227	3	0	0
11月	230	257	4	0	0
12月	191	273	6	0	0
1月	163	247	1	0	0
2月	247	299	7	2	2
3月	185	284	5	0	0
合計	2,172	2,882	40	2	2
月平均	181.0	240.2	3.3	0.2	0.2

①毎月約240名のご家族の面会があり利用者の方にとっては、ご家族の方々の面会を楽しみにされている。

②外出について、通院及び季節行事は除いている。

## 給食栄養状況

栄養ケアマネジメントの実施により、一人ひとりの栄養ケアプランが十分に実施されるよう、他職種協働で取り組みを行い、利用者の個別性に対応している。

## 栄養ケアマネジメント

月	ケアマネジメント実施数 (人)	低 リスク	中 リスク	高 リスク	リスク 未定	合 計
4月	75	41	28	6	5	80
5月	75	25	33	17	5	80
6月	76	37	32	7	4	80
7月	77	39	31	7	3	80
8月	77	42	29	6	3	80
9月	77	43	28	6	3	80
10月	78	22	42	14	2	80
11月	76	43	29	4	4	80
12月	75	36	32	7	5	80
1月	73	38	28	7	7	80
2月	75	38	34	3	5	80
3月	73	38	31	4	7	80
合 計	907	442	377	88	53	
月平均	75.6	36.8	31.4	7.3	4.4	

栄養ケアマネジメントによる一人ひとりへの細かいプランを立て実施しているが、高齢に伴う消化吸収の低下もみられ、現状の維持が多く、著しい改善には至っていない状況であった。

## 食事の状況

	主 食					副 食				
	普通	握食	粥食	流動	経管	普通	刻食	ミキサー	流動	経管
居 室	5	0	19	3	8	7	6	12	2	8
食 堂	21	8	15	0	1	25	13	6	0	1
合 計	26	8	34	3	9	32	19	18	2	9

食形態において主食に於ける普通食は全体の42.5%、副食に於ける普通食40.1%、きざみ食23.7%、ミキサー食22.5%、流動食2.5%、経管11.2%

## 行事食の献立状況

月 日	行 事 名	献 立
4/24	野外食	筍ご飯、あゆの塩焼き、筍の土佐煮、筍のてんぷら、木の芽和え、若竹汁、メロン
5/17	鯖会	しらす寿司、鯖の刺身、かぼちゃの煮物、清し汁、パイナップル
5/22	母の日バイキング	鯛飯、鶏肉の香り揚げ、酢の物、冷やし茶碗蒸し、フルーツポンチ、大判焼き
6/19	父の日バイキング	たこ飯、鰹のたたき、じゃこてん、焼き鳥、蒸しなす、清汁、すいか
7/24	夕涼み会	流しそうめん、バーベキュー、じゃこてん、みぞれ和え、すいか
8/21	夏バテ解消バイキング	鰹井、とうがんの煮物、じゃこてん、焼きなす、冷やし茶碗蒸し、お好み焼き、ところてん
9/13	敬老会祝い膳	巻き寿司、鯛の塩焼き、吹き寄せ、かきフライ、かに酢、メロン、茶碗蒸し
9/18	観月会	いも炊き、巻き寿司、鶏唐揚げ、みぞれ和え、ぶどう
10/30	野外食	ロング巻き寿司（7m）、鶏肉のもろみ焼き、なます、とろろ汁、野菜の煮物、柿
11/20	紅葉バイキング	ちゃんちゃん焼き、芋ごはん、焼き鳥、春雨の酢の物、フルーツ盛り、お好み焼き
12/22	忘年会	巻き寿司、刺身、かに爪フライ、イクラの酢の物、筑前煮、抹茶ようかん、フルーツ盛り、赤だし
1/1	おせち料理	赤飯、ブリの照り焼き、紅白かまぼこ、伊達巻き、巻昆布、黒豆、きんとん、田作り、菊花かぶ、メロン、上生菓子、雑煮
1/29	新春バイキング	たこ飯、寄せ鍋、かに爪クリームフライ、酢の物、かぼちゃの煮物、フルーツゼリー
2/7	賀寿の祝い	巻き寿司、鯛の塩焼き、吹き寄せ、かきフライ、かに酢、フルーツ盛り合わせ、清し汁
3/4	ひな祭りバイキング	巻き寿司、手鞠寿司、押し寿司、一口寿司、いなり寿司、かきフライ、吹き寄せ、ぬたあえ、潮汁、いちご

① 1日：朔日メニュー ・ 祝日メニュー

② 選 択 食・・・・・・月～金（昼食に実施）

## 短期入所生活介護の利用状況

	人数	延日数	1日平均
4月	15	113	3.8
5月	18	149	4.8
6月	21	126	4.2
7月	17	119	3.8
8月	19	159	5.1
9月	18	126	4.2
10月	16	116	3.7
11月	14	109	3.6
12月	23	149	4.8
1月	16	128	4.1
2月	17	139	4.8
3月	16	151	4.9
合計	210	1,584	
月平均	17.5	132.0	4.33
前年度実績	219	1,922	
前年度比	96%	82%	

短期入所は定員4名であるが、1日平均4名を超えている月は入院者の空きベッドを利用して対応させていただいている。

## 社会福祉法人減免

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	43

社会福祉法人減免として生活困難な利用者に対し、利用料の減免措置を行っている。

減免対象者の範囲

1. 老齢福祉年金受給者
2. 市町村が生活困難と認めた場
3. 対象年収が42万円以下の方

## 家族会の状況

実施日	参加家族数	参加人数
平成27年6月21日	32	51
平成27年12月23日	28	43

### 《平成27年度第1回目》

- ①家族会会長の選任について
- ②平成26年度事業報告について
- ③平成27年度事業計画について
- ④グループケアへの取り組み状況報告
- ⑤平成26年度第2回家族会アンケート集計結果について
- ⑥平成27年8月からの負担限度額認定の調査について
- ⑦職員と家族との個別面接の実施、利用者の方の個々のケアプランの立案経過を報告する

### 《平成27年度第2回目》

- ①平成27年度中間事業報告について
- ②グループケアへの取り組み状況報告
- ③マイナンバーの取扱いについて
- ④職員と家族との個別面接の実施、利用者の方の個々のケアプランの立案経過を報告する

## 実習活動実施状況

実習期間	内 容	人員
H27. 8. 17～9. 2	四国中央医療福祉総合学院	1
H27. 12. 8	シルバー人材センター	3
H27. 12. 9	新居浜市役所	5
H27. 12. 11	シルバー人材センター	3
H27. 12. 28～H28. 1. 4	愛媛大学	1
	合 計	13

## 施設見学

日時	内 容
H27. 5. 17	一般 1名
H27. 7. 23	一般 1名
H27. 9. 11	一般 1名
H27. 10. 5	一般 1名
H28. 3. 22	済生会特養職員 9名
合 計	13名

# ボランティア活動実施状況

月日	ボランティア名	人員	内 容	月日	ボランティア名	人員	内 容	
4/14	ふたば荘OB	1	傾聴	10/2	ふたばクラブ21	1	習字	
4/21	ボランティア愛	1	お茶会		ボランティア愛	2		
	ふたばクラブ21	1				ふたばクラブ21	1	
4/24	ふたば荘OB	1	習字	10/20	ふたば荘OB	1	お茶会	
	ボランティア愛	2				ボランティア愛		1
4/28	ふたば荘OB	1	傾聴	10/27	ふたば荘OB	1	習字・ホーム茶屋	
5/19	ふたば荘OB	1	お茶会		ボランティア愛	1		
	ボランティア愛	2			10/23	ふたばクラブ21	5	運動会
	ふたばクラブ21	1	習字・ホーム茶屋	10/28	ふたばクラブ21	9	お楽しみ会	
5/26	ふたば荘OB	1				ふたばクラブ21	1	お茶会
	ボランティア愛	2			11/17	ふたば荘OB	1	
5/27	ふたばクラブ21	9	お楽しみ会		ボランティア愛	1		
5/30	ボーイスカウト新居浜	5	車椅子点検	11/24	ふたば荘OB	1	習字	
6/2	ふたば荘OB	1	傾聴		ボランティア愛	2		
6/9	ふたば荘OB	1	傾聴	11/25	ふたばクラブ21	8	お楽しみ会	
6/12	ふたばクラブ21	1	習字	12/11	ふたば荘OB	1	習字	
	ふたば荘OB	1				ボランティア愛		1
	ボランティア愛	1				ふたば荘OB	1	お茶会
6/16	ふたばクラブ21	1	お茶会	12/15	ボランティア愛	1		
	ふたば荘OB	1				ふたばクラブ21	1	
	ボランティア愛	1		12/16	ふたばクラブ21	9	お楽しみ会	
6/24	ふたばクラブ21	10	お楽しみ会	12/18	ふたば荘OB	1	ホーム茶屋	
6/27	ボーイスカウト新居浜	5	車椅子点検			ボランティア愛		1
6/30	ふたば荘OB	1	傾聴	1/8	ふたば荘OB	1	習字	
	ふたばクラブ21	1				ボランティア愛		1
7/3	ふたばクラブ21	1	習字	1/15	ふたばクラブ21	3	とうど祭り	
	ふたば荘OB	1			1/16	ボーイスカウト新居浜	5	車椅子点検
	ボランティア愛	2			1/19	ふたば荘OB	1	お茶会
7/7	ふたば荘OB	1	カラオケ		ふたばクラブ21	1		
7/14	ふたば荘OB	1	傾聴		ふたばクラブ21	1	習字・ホーム茶屋	
7/21	ふたば荘OB	1	お茶会	1/22	ふたば荘OB	1		
	ボランティア愛	1				ボランティア愛	1	
7/22	ふたばクラブ21	7	お楽しみ会	1/26	ふたばクラブ21	1	雛飾り	
7/24	ふたば荘OB	1	習字			ふたば荘OB		1
	ボランティア愛	2						ボランティア愛
7/25	ボーイスカウト新居浜	4	車椅子点検	1/27	ふたばクラブ21	8	お楽しみ会	
8/4	ふたば荘OB	1	傾聴	2/7	ふたばクラブ21	8	賀寿のお祝い	
8/5	ふたばクラブ21	9	ふたば荘夏祭り	2/12	ふたば荘OB	1	習字	
	ふたば荘OB	1				ボランティア愛		2
	ボランティア愛	1				ふたばクラブ21	1	お茶会
8/7	ふたばクラブ21	1	習字	2/16	ふたば荘OB	1		
	ふたば荘OB	1				ボランティア愛	1	
	ボランティア愛	2			2/24	ふたばクラブ21	7	お楽しみ会
8/11	ふたば荘OB	1	カラオケ	2/26	ふたば荘OB	1	習字・ホーム茶屋	
	ふたばクラブ21	1				ボランティア愛		2
8/18	ふたば荘OB	1	お茶会	2/27	ボーイスカウト新居浜	4	車椅子点検	
	ボランティア愛	1				ふたばクラブ21	1	雛飾り(片付け)
	ふたばクラブ21	1			3/7	ふたば荘OB	1	
8/25	ふたば荘OB	1	習字		ボランティア愛	1		
	ボランティア愛	1			3/11	ふたば荘OB	1	習字
8/26	ふたばクラブ21	9	お楽しみ会		ボランティア愛	2		
9/13	ふたばクラブ21	7	敬老会	3/12	ボーイスカウト新居浜	4	車椅子点検	
	ふたばクラブ21	1	お茶会	3/22	ふたばクラブ21	1	お茶会	
ふたば荘OB	1					ふたば荘OB		1
ボランティア愛	1					ボランティア愛		1
9/25	ふたばクラブ21	1	習字	3/25	ふたばクラブ21	1	習字・ホーム茶屋	
	ボランティア愛	2						ふたば荘OB
9/29	ふたばクラブ21	1	ホーム茶屋		ボランティア愛	2		
	ボランティア愛	1						
9/30	ふたばクラブ21	9	お楽しみ会					
合 計						346		

3月末まで延べ346名のボランティアの方々が訪問し、行事・清掃等を実施していただいた。  
 ふたばクラブ21のボランティアについては、毎月(第四水曜日)のお楽しみ会や個別活動にて行事のお手伝いしていただいた。また、ボランティア手帳についても各人活用し、活動時には持参していただいています。



## 10. 指定居宅介護支援

目標及び課題	成果等
(1) 稼働率の維持・向上の取り組みと従業員の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護支援専門員1人当たりの担当件数 介護給付29,6件/月（目標26.0件/月） 予防給付 9.8件/月（目標 8.8件/月）</li> <li>② 利用者の要望に添った居宅サービス計画を作成する為、課題分析手法やアセスメント等を習得して、利用者本人のできる事や意向をプランに反映させた自立支援型ケアマネジメントに努めた。</li> <li>③ 業務に関連する研修会に積極的に参加し、要支援から要介護まで一人の方を継続して支援できる知識と能力の向上に努めた。</li> </ul>
(2) 事業所内の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 定期的に利用者の近況報告や支援内容についての検討会を開催して、新規利用者の状況やサービス内容及び入院等の情報を部署内で共有しました。担当者が不在の時でも適時対応ができた。</li> </ul>
(3) 相談及び苦情に対する援助体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>① サービス事業者と情報を共有し、利用者やその家族からの相談及び苦情に、公正中立のもと迅速かつ適切な対応をおこなった。</li> </ul>

## 11. 通所介護事業所（含 介護予防通所介護事業所）

目標及び課題	成果等
(1) 稼働率向上の為の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 選ばれる事業所作りに努めていたが、集客には至らず経営困難なため、6月1日付けでデイサービスセンターふたばの森と統合した。</li> <li>② 居宅介護支援事業所との関係作りを行っていたが、新規利用者1名だった。</li> </ul>
(2) 処遇の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 利用者本位の立場で在宅生活が続けていけるよう支援できた。</li> <li>② 家族（介護者）の負担軽減に努め、家族やケアマネージャーからの要望に、柔軟に応えた。</li> <li>③ 相手の立場を考えた、言動、行動、態度を心掛け支援できた。</li> </ul>

<p>3) 資質向上</p> <p>(4) 年間行事</p> <p>(5) 配食サービス</p>	<p>(食事)</p> <p>① 個人の状態や嗜好にあわせた食事提供に努めた。また、その日の体調に合わせた食事提供ができた。</p> <p>② 出来たての食事を味わって頂けるよう、温かいものは温かい内に、冷たいものは冷たい内に食べていただけるよう、厨房と連携し提供できた。</p> <p>③ 季節感を味わって頂ける食事を取り入れ、また、行事食を実施し、楽しんで頂けた。</p> <p>(入浴)</p> <p>① 安心・安楽な入浴が提供できた。</p> <p>② 個々に合わせた入浴ができた。</p> <p>③ 残存機能を生かし、在宅での生活が続けられるよう支援できた。</p> <p>① 報告、連絡、相談の徹底を行い情報の共有ができた。</p> <p>② 利用者の要望を聞き入れ目標達成に近づけるよう支援した。</p> <p>③ 研修等に参加した情報は他の職員にも共有し資質向上に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="651 1131 1366 1411"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>主な行事</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>お花見</td> <td>新居浜市内の桜の名所をドライブを実施。利用者も喜ばれていた。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>バラ見物</td> <td>山根公園、三島運動公園へ個別にバラ見物に出かけた。全員参加することができた。</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 在宅で生活する要援護高齢者に対して、栄養のバランスのとれた食事を定期的に供給できた。また、食事を手渡しすることで、安否確認、状況確認もできた。</p> <p>300円：1,479食 500円：413食</p>	月	主な行事	実施内容	4	お花見	新居浜市内の桜の名所をドライブを実施。利用者も喜ばれていた。	5	バラ見物	山根公園、三島運動公園へ個別にバラ見物に出かけた。全員参加することができた。
月	主な行事	実施内容								
4	お花見	新居浜市内の桜の名所をドライブを実施。利用者も喜ばれていた。								
5	バラ見物	山根公園、三島運動公園へ個別にバラ見物に出かけた。全員参加することができた。								



## 【平成27年度 利用者年齢層×介護度】

利用者／介護度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
65～ 69歳	計								0
	男								0
	女								0
70～ 74歳	計				1				1
	男								0
	女				1				1
75～ 79歳	計		1		1				2
	男		1						1
	女				1				1
80～ 84歳	計		4	3	1	3			11
	男				1				1
	女		4	3		3			10
85～ 89歳	計	1	4	4	4	1	1		15
	男		2			1			3
	女	1	2	4	4		1		12
90歳以上	計		4	6	4	5	3		22
	男		2	3	1				6
	女		2	3	3	5	3		16

平成28年3月31日現在

※平均年齢：88.0歳で（男性88.4歳 女性88.1歳）

最高齢者は、男性で94歳、女性で101歳

■平均介護度：2.1（要支援を除く）

## 12. 在宅介護支援センター

新居浜市地域包括支援センターが行う総合相談支援業務及び権利擁護業務等に協力した。

在宅介護支援センターは次に定める事業を行った。

目標及び課題	成果等
(1) 総合相談支援業務 「高齢者や家族からの総合的な介護や福祉に関する相談」	① 主として成年後見制度に関する相談が多数であり、師長申立に向けた働きかけを、各関係機関と共に行った。
(2) 権利擁護業務	「認知症サポーター養成講座補助」 講師 1 回・演者 3 回
(3) 地域ケアネットワーク推進協議会の開催	「船木地域ケアネットワーク推進協議会」： 3 回 「泉川地域ケアネットワーク推進協議会」： 1 回
(4) 配食サービス利用者アセスメント業務	配食サービス利用者アセスメント調査 : 34 件

## 13. 成年後見センター

社会福祉法人ふたば会として被成年後見人等を支援していくことが可能となるように、事業に取り組んだ。

成年後見制度は精神上的障害（知的障害、精神障害、認知症など）により判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その方の財産管理や生活の支援をしてくれる人（私人や法人）を付けてもらう制度です。

成年後見センターふたば荘は次に定める事業を行った。

目標及び課題	成果等
「事業内容」 (1) 行政・医療・福祉・介護 ・法律等関係機関との連携 (2) 成年後見制度及び法人後見センターの活動の周知 (3) 相談・申立て手続き支援 (4) 法人後見の受任（財産保全に関する法律行為、日常	受任件数 13 件 (内：後見類型 10 件・保佐類型 3 件)

<p>的な金銭管理出納、居住の確保に伴う法律行為、介護及び福祉サービス利用における契約行為、定期的な訪問などの身上監護)</p>	
--	--

## 14. 委員会活動計画

目標及び課題	成果等
<p><b>【環境委員会】</b> 利用者・職員が快適に生活出来る空間を提供できるよう、施設内外の環境整備に努めた。</p> <p><b>【サービス向上委員会】</b> 施設生活や利用者個人に関わる課題について多職種で協議し、サービスの質向上を図った。</p> <p><b>【感染委員会】</b> 介護施設では、抵抗力が弱い高齢者が生活しています、感染の被害を最小限にする事に努めた。</p>	<p>① 月 1 回奉仕デイを開催し、施設内外の環境美化に努めた。只、毎回の参加人数が 10 数名と少なく、予定箇所ができない事があった。雨天時には翌週等に延期し対応した。</p> <p>② 委員で花壇の割り振りをし管理を行ったが、十分には出来ていなかった。</p> <p>① 季節の全体行事について、実施方法や場所の選択等の検討を行い、実施に繋げる事ができた。</p> <p>② 各部署や委員会からの検討課題について、参加者で協議・評価を行う事で、サービスの向上に繋げる事はできた。しかし、検討課題の抽出については、もう少し事前に準備し、多様な項目について協議できるように改善していきたい。</p> <p>高齢者介護施設において、感染に対する抵抗力が弱い高齢者が集団で生活する場所の為、平常時から対策を実施し、発生時においては迅速な対応が出来るように職員の意識レベルの向上を図り、感染症が発生した場合、その被害を最小限に抑えるように施設全体で取り組むよう努めた。</p> <p>① 委員会開催回数及び出席人数 年間 / 13 回 出席延べ人数 / 140 名</p> <p>② 毎月の委員会検討内容 (項目のみ) 4 月・・・MRSA 結果報告 / ゴキブリの集計 / 利用者健康診断実施 5 月・・・MRSA 結果報告 / ゴキブリの集計 / 春のベッドマット消毒交換の実施、職員の健康診断</p>

<p>【給食委員会】</p> <p>食事を通して、利用者の健康保持と生活の楽しみを提供できる活動に努めた。</p>	<p>6月・・・MR S A結果報告／ゴキブリの集計／</p> <p>7月・・・MR S A結果報告／ゴキブリの集計／</p> <p>8月・・・MR S A結果報告／ゴキブリの集計／</p> <p>9月・・・MR S A結果報告／ゴキブリの集計／</p> <p>秋のベットマット消毒交換の実施</p> <p>10月・・・MR S A結果報告／ゴキブリの集計</p> <p>11月・・・MR S A結果報告／利用者・職員インフルエンザワクチン実施／利用者の健康診断実施</p> <p>12月・・・MR S A結果報告／空気の乾燥にて、各グループで気温と湿度管理に努める。インフルエンザ流行のきざし、全職員マスク着用と手洗いの実施表開始。</p> <p>1月・・・MR S A結果報告／内部学習会「クレベリンと新型インフルエンザウイルスについて」 【参加者 23名】</p> <p>2月・・・MR S A結果報告／塩素消毒とクレベリン購入について</p> <p>3月・・・MR S A結果報告／換気の放送と手洗いチェック表について</p> <p>③ 平成 27 年度の活動と結果について</p> <p>今年の、インフルエンザの流行は遅く、地域の感染状況に注意したり、利用者・職員のインフルエンザワクチン接種にて予防し手洗い、うがいの徹底を行った、その結果施設内でのインフルエンザの発症はなかった。今後も委員会を中心に感染予防を行う。</p> <p>4. 次年度以降の取り組みについて</p> <p>利用者が、安心して過ごして頂けるように、常に利用者の状態を観察し、変化に気づき早期発見と早期対応に努る。また、万が一感染が発生した場合は、施設全体で感染拡大を最小限に抑えるように委員会を開催し、感染源を遮断するよう全職員で取り組む。次年度は施設内の清潔を保ち整理整頓を心がけ、感染に対する職員の意識レベルの向上に努める。</p> <p>① 毎月の行事食を計画立案をおこなった。</p> <p>② 毎月の体重の変化や、食思の変化、体調の変化など食事に関する個々の食事検討を行い、早急の対応をおこなった。</p> <p>③ 水分補給や食事内容、食事介助などの検討をおこなった</p> <p>④ 経口維持の為の口腔ケア及び食事介助について評価をおこなった。</p>
---	--

<p><b>【広報委員会】</b> 利用者・家族・地域等に対して、施設生活の様子を伝える事ができるような広報活動を実施し、施設への関心を高める事に努めた。</p> <p><b>【研修委員会】</b> 施設内研修の計画立案を行った。</p> <p><b>【事故防止委員会】</b> 介護事故の予防・減災に努めた。</p> <p><b>【言葉・態度委員会】</b> 利用者・外来者・職員が心地よく感じられる、接遇を目指し言葉遣い・態度について見直しをおこなった。</p>	<p>① 2ヶ月に一度の広報誌を発行を実施した。 ② 広報誌を伊予銀行船木支店および郵便局船木支店の店頭で配布、船木公民館を通じて船木地区全域に配布した。ふたば夏祭りのポスターを各所に設置した。</p> <p>本年度計画した研修に関しては、全て実施できたが、参加率は部署でバラツキがあり、今年度の指導監査でも大きな研修(運営規程)には全職員が出来るだけ参加してもらえ働きかけをするように指導があったため今後の課題とする。今回で11回目になる施設内実践報告会から介護の発表が愛媛県大会、四国大会の選出にて準備をしている。</p> <p>事故報告書から委員会でも事故防止策を検討したが、今年度の指導監査において、施設として出来る事、出来ないことがあるが、解決策は出来るだけ具体的な内容で、再発予防をして何が変わったか説明することが大事と指摘を受ける。特に「見守り」について具体的な改善策を講じるよに指導される。また、【誤薬】に関しては、新人職員、パート職員に事故が目だったためマニュアル見直しをし変更をした。</p> <p>また、事故とヒヤリハットのバランスが悪い指摘を受けたので、区分の見直しを実施し次年度から実施予定。</p> <p>利用者・職員に対してきちんと姓をさん付けで呼び合うことを話し合った。特に職員同士の呼び方が未だに改善されていない職員がいる。次年度も十分に注意して、言葉から態度が現れることを再認識していきたい。また、高齢者に対しての虐待が色々と報じられた年だった。高齢の利用者が穏やかな気持ちで毎日安心して過ごしていただけるように配慮が十分であったか反省して次年度はスローガンを常に意識して行動できるように啓発していくことが課題となった。</p>
---	--



**【褥瘡委員会】**

施設内で褥瘡を発生しないように努めた。

平成 27 年度、施設において褥瘡が発生しないように委員会で、発生予防や対策を検討した。

① 年間 12 回 参加人数 82 名

② 褥瘡者発生 ハイリスク者人数

4 月・・・1 名 9 名

5 月・・・1 名 7 名

6 月・・・3 名 9 名

7 月・・・2 名 5 名

8 月・・・2 名 6 名

9 月・・・4 名 5 名

10 月・・・4 名 6 名

11 月・・・3 名 10 名

12 月・・・3 名 9 名

28.1 月・・・4 名 12 名

2 月・・・1 名 16 名

3 月・・・1 名 14 名

③ 4・10 月健康診断によるアルブミン値の K 式スケール評価実施した。

④ 年 1 回の褥瘡委員会により内部学習  
平成 27 年 10 月 「褥瘡予防」実施

⑤ 褥瘡状況と結果について

本年度は、褥瘡治癒までに長期時間がかかり、定期的な受診を続けながら、介護・看護で連携を図りケアの実施、高齢者の為、基礎疾患があり身体レベル低下に伴い、褥瘡ゼロに出来なかった。

**【排泄委員会】**

(1) 気持ちのよい排泄を目指した。

時間を決め、トイレ誘導を行う中で一人一人にあった排泄パターンを見極めれる様に努め、認知症の方のトイレ要望時のサイン等も職員同士で話し合い観察しながら対応した。

(2) 皮膚のトラブル、尿路感染等の予防に努めた。

入浴時の皮膚観察、おむつ交換時の陰部洗浄などの意識付けを行い、予防・早期発見に努めた。だが現在も十分に対応出来ていない所もあり今後の課題となった。

**【看取り委員会】**

安らかな最期を迎えられる様支援に努めた。

当委員会では、入所者が尊厳ある安らかな最期を迎えるために看取り開始時から他職種と連携した会を持ち、本人の意思ならびに家族の意向を最大限に尊重して行った。

<p>【喀痰吸引委員会】</p> <p>喀痰吸引を安全に実施できるよう努めた。</p>	<p>① 看取りの実際</p> <table border="0"> <tr> <td>4月</td><td>3名</td> <td>6月</td><td>4名</td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>7月</td><td>1名</td> <td>8月</td><td>1名</td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10月</td><td>1名</td> <td>11月</td><td>2名</td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>1月</td><td>1名</td> <td>3月</td><td>3名</td> <td>計</td><td>16名</td> </tr> </table> <p>② 今後の課題と取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃より家族とのコミュニケーションをとり、信頼関係を築いた。</li> <li>・施設での看取りの理念、死生観教育、終末期の身体的・精神的変化への対応など、看取りが適切に行われるよう職員教育を実施した。</li> <li>・看取りの計画通りに実施できたかどうかの評価を早い時期に行うことが、次年度以降の課題となった。</li> </ul> <p>利用者が、穏やかに生活して頂くために医療行為研修を終了した介護職員による安楽な呼吸の管理に努めた。</p> <p>【喀痰吸引の実際】</p> <table border="0"> <tr> <td>4月:同意者数</td><td>9名</td> <td>夜間吸引者数</td><td>3名</td> </tr> <tr> <td>5月:同意者数</td><td>10名</td> <td>夜間吸引者数</td><td>3名</td> </tr> <tr> <td>6月:同意者数</td><td>10名</td> <td>夜間吸引者数</td><td>5名</td> </tr> <tr> <td>7月:同意者数</td><td>7名</td> <td>夜間吸引者数</td><td>2名</td> </tr> <tr> <td>8月:同意者数</td><td>6名</td> <td>夜間吸引者数</td><td>3名</td> </tr> <tr> <td>9月:同意者数</td><td>7名</td> <td>夜間吸引者数</td><td>5名</td> </tr> <tr> <td>10月:同意者数</td><td>6名</td> <td>夜間吸引者数</td><td>3名</td> </tr> <tr> <td>11月:同意者数</td><td>6名</td> <td>夜間吸引者数</td><td>3名</td> </tr> <tr> <td>12月:同意者数</td><td>6名</td> <td>夜間吸引者数</td><td>3名</td> </tr> <tr> <td>1月:同意者数</td><td>6名</td> <td>夜間吸引者数</td><td>3名</td> </tr> <tr> <td>2月:同意者数</td><td>6名</td> <td>夜間吸引者数</td><td>2名</td> </tr> <tr> <td>3月:同意者数</td><td>9名</td> <td>夜間吸引者数</td><td>2名</td> </tr> </table>	4月	3名	6月	4名			7月	1名	8月	1名			10月	1名	11月	2名			1月	1名	3月	3名	計	16名	4月:同意者数	9名	夜間吸引者数	3名	5月:同意者数	10名	夜間吸引者数	3名	6月:同意者数	10名	夜間吸引者数	5名	7月:同意者数	7名	夜間吸引者数	2名	8月:同意者数	6名	夜間吸引者数	3名	9月:同意者数	7名	夜間吸引者数	5名	10月:同意者数	6名	夜間吸引者数	3名	11月:同意者数	6名	夜間吸引者数	3名	12月:同意者数	6名	夜間吸引者数	3名	1月:同意者数	6名	夜間吸引者数	3名	2月:同意者数	6名	夜間吸引者数	2名	3月:同意者数	9名	夜間吸引者数	2名
4月	3名	6月	4名																																																																						
7月	1名	8月	1名																																																																						
10月	1名	11月	2名																																																																						
1月	1名	3月	3名	計	16名																																																																				
4月:同意者数	9名	夜間吸引者数	3名																																																																						
5月:同意者数	10名	夜間吸引者数	3名																																																																						
6月:同意者数	10名	夜間吸引者数	5名																																																																						
7月:同意者数	7名	夜間吸引者数	2名																																																																						
8月:同意者数	6名	夜間吸引者数	3名																																																																						
9月:同意者数	7名	夜間吸引者数	5名																																																																						
10月:同意者数	6名	夜間吸引者数	3名																																																																						
11月:同意者数	6名	夜間吸引者数	3名																																																																						
12月:同意者数	6名	夜間吸引者数	3名																																																																						
1月:同意者数	6名	夜間吸引者数	3名																																																																						
2月:同意者数	6名	夜間吸引者数	2名																																																																						
3月:同意者数	9名	夜間吸引者数	2名																																																																						

特別養護老人ホーム  
短期入所生活介護事業所  
デイサービスセンター  
グループホーム

ふたばの森

# 特別養護老人ホームふたばの森

## 1. 事務

### 総合目標及び課題

開かれた施設経営を行うとともに利用者と地域貢献にお応え出来るように努めた。  
また、それぞれの各事業所、職種間で連携が取れるように図った。

重点目標及び課題	成果等
(1) 予算執行及び事務処理の効率化	① 予算要求に基づき、緊急性のあるものより順次半期より執行をした。 ② 新会計基準に移行をさせ、適切な会計処理を行い経営会議において毎月会計報告を行った。
(2) 介護報酬減収への対応	① 平成 27 年度より 3 年間、減収となるためより一層の高稼働率（欠員補充等）に努めた。また、加算が取得できそうな事案については、協力医と連携を密にして口腔ケア加算を取得した。経費節減については、平成 26 年度に引き続き納入業者の見直しを行い、平成 28 年度更新のカーテン納品業者の交替を実施した。
(3) 新居浜市介護支援ボランティアの受入れについて	① 平成 26 年 11 月よりスタートした介護支援ボランティアの受入れを継続して積極的に行った。
(4) 地域貢献への強化	① 平成 28 年 1 月より試験的に移動販売を開催して毎週、月曜日には定期的を開催出来るように全職員で協議を行いアウトリーチで地域住民の表明されていないニーズを掘り起こし、施設が有する機能を地域へ還元して貢献に繋げた。 移動販売「ふたば屋」については、全職員よりネーミングを募り経営会議にて決定をした。
(5) 防災への取り組み	① 懸念されている南海トラフ等、防災に対する取り組みを積極的に行い、特に夜間を想定した火災通報、初期消火、避難訓練、地震対策等訓練を重点的

<p>(6) 情報収集と共有について</p>	<p>に実施した。また、防災協定を締結している近隣自治会や締結を行っていない自治会とも連携を密にし継続的に防災訓練を実施した。</p> <p>① 日々、変わっていく情報をインターネットやマスメディアを活用して収集を図り、即座に全職員に確実に発信して共有を図った。</p>
------------------------	---

## 2. 生活相談員

### 総合目標及び課題

施設理念に沿って利用者の満足と安心した生活に繋がるよう他職種と連携して、個々に応じたサービスの提供に努めた。また、契約者と連絡を密に行い施設サービスの理解と関係作りに努めた。

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 稼働率について</p>	<p>① 年間平均稼働率は 98.1 %となった。入所待機者を常時調整・確保し、空床が発生すると同時に新規入所者の利用調整を行った結果、入退所7件全てにおいてほぼ7日間以内に新規利用者の契約を交わすことができた。ただし、入院時の空床ベッドをショート利用に繋がる調整については空床266日に対して16日のみの空床利用にとどまった。</p>
<p>(2) 利用相談等の調整・対応について</p>	<p>① 契約者に対して利用者の服薬変更、事故発生時は速やかに連絡するように努めた。また、市外契約者には利用者の写真を沿えて健康上等を簡易に記録した書面を隔月で郵送して、利用者情報を家族と共用できるように積極的に情報ほ発信した。また、施設利用料金簡易計算表を作成して、個別ごとに利用料金の説明を行なえるように体制を整えた。</p>
<p>(3) 生活リハビリの継続と充実</p>	<p>① 介護力向上研修の一環により、日常生活リハを相談員等でほぼ毎日短時間ではあるが提供した。主に歩行器を使った訓練が主となったが、個別にベッド上での関節の曲げ伸ばしを行ない、リハビリのニー</p>

<p>(4) 実習・ボランティアについて</p>	<p>ズにできる限り柔軟に対応し実施した。</p> <p>① 実習の目的に沿って各実習の受け入れに努めた。新規実習団体の受け入れはなく昨年同様の対応となった。ボランティアについては個人で2名のみ継続活動されているが、新規団体の活動受け入れはなく施設における新規ボランティアの受け入れ等は無かった。</p>
--------------------------	--

### 3. 介護

#### 総合目標及び課題

一人ひとりの要望に応えるとともにケアプランに個々の要望や、ご家族様の要望を反映させながら安全で安心した生活が過ごせるような手伝いをした。また、前年度に引き続き介護力向上講習会で学んだ水、運動、自然排便を目標に努めた。

#### <さくらユニット>

重点目標及び課題	成果等
(1) 個別ケアの充実	<p>① 個々にあったサービスを提供し、ご本人や家族の方にも満足して頂くよう努力したが、十分な個別ケアが出来なかった。多職種協力の下、歩行訓練、立位訓練を継続し、トイレでの排泄ができるよう取り組んだ。又、利用者の変化に気づき早急に対応出来るようにした。</p>
(2) 統一したサービス支援の提供	<p>① 新しい取り組みを行う時は、まず各ユニット内で相談し方向性を確認し、他のユニット、他職種にも情報の共有を図って、同じ対応ができる様取り組んだ。</p>
(3) 接遇の共通認識	<p>① 利用者と同じ目線で接し、不快感を与えないようにした。</p> <p>② 挨拶は元気で明るい笑顔で接した。接遇チェックシートを活用しながら取り組んだ。</p>

(4) 年間諸行事	月	行事	実施日
	4	お花見	4/2
	5	芍薬見物	5/20
	6	あじさい、菖蒲見物	6/10
	7	七夕祭り	7/7
	8	納涼祭（盆踊り）	8/1
	9	いも炊き	9/9
	10	地方祭	10/16
	11	紅葉見物	11/19、12/7
	12	クリスマス会、忘年会	12/16
	1	新年式、初詣	1/1、1/4
	2	賀寿の祝い	2/20
	3	ユニット行事	なし

<ふじユニット>

重点目標及び課題	成果等
(1) 個別ケアの充実	① 個人の要望を聞きながら、ユニットの職員が中心になり、個別ニーズに対応した。外食や外出など個々の要望に応えられるよう調整をした。好みの飲み物を提供し、歩行練習も続ける事によって自然排便を促す事が出来るよう利用者の状態を細かく観察した。
(2) 統一したサービス支援の提供	① 新しい取り組みを行う時は、まず各ユニット内で相談して方向性を確認し、他のユニット職員や他職種職員とも情報の共有を図り、同じ対応ができる様にした。
(3) 接遇の共通認識	① 元気に笑顔で挨拶を行った。 ② 感謝の気持ちを忘れないようにした。 ③ 接遇チェックシートを活用しながら取り組んだ。 ふじユニット理念とし取り組んだ。 また、会話時の姿勢や目線に気をつけた。

(4) 年間諸行事	月	行事	実施日
	4	お花見	4/2
	6	和太鼓見学	6/13
	6	角野銭太鼓来森	6/20
	7	ユニット行事 (外出)	6/23
	8	納涼祭 (盆踊り)	8/1、8/15
	9	いも炊き	9/9
	9	ぶどう狩り	9/18
	10	地方祭	10/17
	11	紅葉見物	11/19
	12	クリスマス会	12/14
	1	拝賀式、初詣	1/1、1/4
	1	ユニット行事 (外食)	1/6

<いちょうユニット>

重点目標及び課題	成果等
(1) 個別ケアの充実	<p>① 個々にケアプランを作成し、その方に合った個別ケアを行い、介護力向上講習会で学んだ水分・排泄・歩行に積極的に取り組んだ。ご自分で訴えの出来る利用者が多いので、担当職員を中心にその方の要望が実現出来る様に、相談員、家族と密に連携を取り対応した。</p> <p>ご自宅でゆっくりと過ごす時間を持つ事が出来たり、外出、外食を楽しんでいただく事が出来た。</p>
(2) 統一したサービス支援の提供	<p>① 報告・連絡・相談を密にし、職員5名が、統一した処遇ができるように、月に1回のユニット会の他に、ユニット職員間での情報共有を行える連絡簿を活用した。</p> <p>② 他職種や他ユニット職員との情報共有を行い、統一処遇が出来る様に努めた。</p>
(3) 接遇の共通認識	<p>① 利用者の立場、気持ちになり「ありがとうございます。」の感謝の気持ちを常に持ち接した。</p> <p>② 会話や挨拶は、利用者の目線に合わせて、はっきりとわかりやすく行った。</p>



(4) 年間諸行事	③ ユニット会にて毎月の目標を決め、利用者が安心した生活が送れる様に取り組んだ。		
	月	行事	予定日
	4	お花見	4/2
	6	新宮の森遠足	6/3
	6	角野太鼓来森	6/13
	7	七夕まつり	7/7
	8	納涼祭	8/1、8/15
	9	いも炊き会	9/9
	10	地方祭	10/16
	11	紅葉見物	10/23
	12	クリスマス会	12/16
	1	初詣	1/1、1/4
	2	節分・長寿の祝い会	2/3、1/20
	3	ひなまつり	3/3

## 4. 栄養

重点目標及び課題	成果等
(1) 栄養ケアマネジメントの実践	① 入所者毎に栄養ケアマネジメントを実施し、早期に栄養障害の改善と健康増進に取り組んだ。また、摂取機能障害及び嚥下障害のある方に、安全においしく食べられる事を目標とし、他職種協働にて経口摂取維持を最大限支援した。
(2) 食事内容の充実化	① 個人の摂食機能に応じた安全と楽しみのある食事の提供を目指し、ソフト食の提供を行った。 ② 季節を感じ、楽しみのある行事食を提供した。 ③ より個々の要望に応えられるよう、週2回、選択食を実施した。 ④ 温冷配膳車の使用や調理工程に配慮し、適温の食事提供を行った。

(3) 行事食	月	内容	料理形態
	4	お花見	弁当
	9	いもたき会	鍋
	12	クリスマス会・忘年会	洋食ランチ
	1	お正月	祝儀仕切折膳
(4) 安全で衛生的な食事サービス	① 大量調理施設衛生管理マニュアルに準じて、食中毒予防と調理室内・調理器具の衛生管理を徹底した。		

## 5. 医務

重点目標及び課題	成果等
(1) 日常生活の健康管理	<p>① 日々、食事摂取状況、バイタル、排泄の確認、身体状況及び介護職員からの情報を把握し、個々の健康状態に努めた。</p> <p>② 個々の身体状態の異常の早期発見、早期対応に努め医療機関の受診を行った。</p>
(2) 他職種との連携	<p>① 介護職員と情報の共有を図り互いに協力し、より良い介護が提供できるようにした。</p> <p>② 年2回の健康診断(4月・10月)、随時の採血や、食事摂取状況を把握し、各職種と連携し食事内容の変更・見直しは随時行いった。</p> <p>③ 経管栄養は医師の指示のもと、事故のないよう、安全・正確に注入した。</p>
(3) 薬剤・投薬の適切な管理	<p>① 定期処方・臨時処方の内容を確認し、間違いの無いようにした。</p> <p>② 臨時処方など個別に管理し、一覧表を作成することでわかりやすく整理した。</p> <p>③ 配薬準備時は、看護職員・介護職員によってダブルチェックを行った。</p>
(4) 職員への医療教育	<p>① 入職時、医務研修を実施した。</p> <p>② 救急対応、看取りの対応について、介護、看護共</p>

	に共通認識がもてる様研修会への参加・勉強会での伝達講習は行った。
--	----------------------------------

## 6. 委員会

### ・運営委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 各ユニット、部署との情報の共有	① 共有すべき情報を提供し、運営が円滑に進むように開催した。 ② 次月の行事について、各部署の調整を行いながら実施出来るように決定した。 ③ 次年度に引き続きマニュアルの順位付けを行い、内容の見直しを各担当者が行った。 ④ 各部署、各ユニットより課題項目を議題として解決に向けて取り組みを行った。 ⑤ 苦情、重大事故については経過報告を行い、未然に防ぐ対応策の協議を行った。

### ・研修委員会

重点目標及び課題	成果等															
(1) 内部研修の実施	① 法令や運営基準に基づく必須研修を中心に、全職員対象の研修を実施した。 <table border="1" data-bbox="716 1346 1332 1619"> <thead> <tr> <th></th> <th>必須研修名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>褥瘡対策に関する研修</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>事故防止に関する研修</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>高齢者の虐待に防止に関する研修</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>感染症及び食中毒防止のための研修</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>看取りに関する研修</td> </tr> </tbody> </table>		必須研修名	①	褥瘡対策に関する研修	②	事故防止に関する研修	③	高齢者の虐待に防止に関する研修	④	感染症及び食中毒防止のための研修	⑤	看取りに関する研修			
	必須研修名															
①	褥瘡対策に関する研修															
②	事故防止に関する研修															
③	高齢者の虐待に防止に関する研修															
④	感染症及び食中毒防止のための研修															
⑤	看取りに関する研修															
	② 必要に応じ職員の要望を取り入れた内部研修やその時の情勢に合った内部研修を行った。 <table border="1" data-bbox="716 1704 1332 1928"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>研修内容</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>口腔ケア</td> <td>5/14</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>感染症</td> <td>6/17</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>排泄</td> <td>7/22</td> </tr> </tbody> </table>	月	研修内容	実施日	4			5	口腔ケア	5/14	6	感染症	6/17	7	排泄	7/22
月	研修内容	実施日														
4																
5	口腔ケア	5/14														
6	感染症	6/17														
7	排泄	7/22														

	8	身体拘束	8/19
	9	四国大会報告・虐待防止	9/16
(2) 新任職員への研修	10		
	11	感染症	11/19
(3) 外部研修への参加	12		
	1	看取り・事故防止	1/20
	2		
	3	防災について	3/15

① 入職時の施設長研修を中心に、各職種に必要な基礎研修を実施した。実際の業務についてはOJTを通して、一対一での指導を行った。

① 研修開催要項が到着次第開示して希望者を募った。希望者が無き場合は、施設長より指名を行い参加してもらった。研修後は、情報を全職員が共有出来るように報告会を開催した。

・給食委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 利用者個々に合った食事の提供	① 利用者個々に合った形態で食事を提供できるようにした。
(2) 食事内容の充実化	① 利用者、職員の意見を参考にし、食事内容の充実化を図り、委託業者と連携し、季節感のある食事の提供を実施した。
(3) 自然排便・排便コントロールの実施	① 排泄委員会や医務と連携し、自然排便を促す工夫をした。

・感染対策委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 定期的な委員会の開催	① 年中を通して食中毒や感染症が流行する時期を想定して事前に委員会を開催して対応策を講じた。また、経験の浅い職員については基本から指導し誤った対応をしないように指導した。状況に応じて早期に対応出来るよう都度、委員会を開催した。

(2) マニュアルの見直し	① 既存のマニュアルを委員が中心となって見直しを行った。また、手順書についても現実に則した内容に訂正を行った。
(3) 感染症対策広報活動	① 最新の流行情報を入手して全職員に伝達を行った。 ② 11月より利用者及び面会者に、うがい・手洗い・手指消毒・マスク着用の協力をお願いし、感染症の感染防止に努めた。

・入浴委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 利用者個々にあった入浴方法と本人の要望に添った入浴の取り組み	① 利用者の日常の生活リズムを把握し、マンツーマンでの入浴対応を行った。 ② 時間や形態を本人の要望に添って入浴が出来るように行った。
(2) 安全な入浴支援への取り組み	① 入浴事故報告（浴槽内での見守り、ストレッチャーからの転落等）をふまえ、入浴前入浴中の安全確認を継続して実施した。 ② 体調や状態の変化に応じて、随時入浴の形態の変更を行い、安全安楽な入浴支援を行った。
(3) プライバシーの保護	① 入浴時、プライバシーを侵害しない為の取り組み（カーテン・タオル）んだ。
(4) 快適な入浴環境の整備	① 月に1回の委員会を開催し、入浴環境、設備等の見直しを行い、快適な入浴が行えるよう改善した。 ② 入浴介助後の清掃・点検を職員に改めて注意して行うよう周知し、清潔保持に努めた。 ③ 介助終了後、入浴担当者によるシャンプー類等の補充を定着させ、不備のないように努めた。
(5) 感染対策	① 感染症のある利用者の対応について、改めて職員に周知して介助時に実行出来るようにした。

・防災対策委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 防災訓練の実施	<p>① 災害発生時に入居者の安全確保に迅速に対応できるように、計画的に消火訓練・避難訓練を昼間想定、夜間想定で実施した。夜間想定時には消防署員に立会をいただき火災や避難に対する指導を受けた。</p> <p>② 消火・避難訓練以外も、水害、震災訓練を計画的に訓練を行い、防災対策に万全を期した。訓練前に、各部署・各ユニットへの参加周知及び参加職員との事前確認を行い、円滑に訓練を行った。</p>
(2) 地域防災	<p>① 地域防災協定に基づき、合同防災訓練に参加した。また、事前に行われる準備会議にも委員が出席して交流を深めた。</p>
(3) 防災活動	<p>① 日頃より、防災に関する敷地内パトロールを定期的に行い、施設内外の危険個所を把握改善、防災設備の点検整備等の防災対策を徹底した。</p> <p>② 備蓄品や避難経路図を常日頃より確認を行い、追加購入や変更が必要な場合は適時対応をした。</p>

・排泄委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 利用者個々にあった排泄の方法と褥瘡予防への取り組み	<p>① 利用者の日常の生活リズムを把握し、排泄、排便の観察を行った。「個別排泄」「自立支援」が行える様に、毎月1回の委員会にて話し合いをした。</p> <p>② 排泄介助時には皮膚観察も常に行い、褥瘡や皮膚の爛れのある方は医務との連携を取り、早期対応処置を行った。</p>
(2) 感染予防	<p>① トイレ誘導後、オムツ交換後に職員が感染の媒介にならないように、手洗い・アルコール消毒の実施を徹底した。</p>
(3) プライバシーの配慮	<p>① 相手の立場にたった介助を心掛け、プライバシーに配慮した介助に努めた。</p>

(4) 環境整備	<p>① 利用者のトイレ使用时にはいつでもトイレ内が清潔に保たれているよう、掃除を徹底した。</p> <p>② 排泄委員中心に、オムツの発注・管理を行う事で、利用者に気持ち良く排泄していただく事も考えながら、無駄なオムツの使用を無くした。</p>
----------	---

・環境委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 朝掃除の実施	<p>① 朝清掃を実施し、施設の環境維持向上に努めた。</p> <p>② 朝清掃では、敷地内の掃き掃除、除草作業を行いました。グループ毎に1週間清掃を行い、表にチェックを入れた。</p> <p>③ 年1回ベランダ掃除を実施し、排水溝の詰まり等に注意した。</p>
(2) 施設内清掃の実施	<p>① 施設一階の清掃を毎朝実施した。</p> <p>② 施設内清掃では、玄関・廊下・事務所・トイレの清掃を重点的に行った。</p>
(3) 花の植え替え	<p>① 年2回プランターの花の植え替えを実施し環境美化に努めた。</p>

・褥瘡委員会

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 施設内の褥瘡予防対策を効果的に推進した</p> <p>・褥瘡対策委員会の構成</p> <p>・褥瘡対策委員会の開催</p>	<p>① 看護職員、介護職員、管理栄養士、生活相談員、介護支援専門員、その他必要と認められる職員で構成した。</p> <p>① 褥瘡対策委員会は、1ヶ月に1回（定例開催以外にも必要に応じて随時）開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡及び合併する感染症の予防体制の確立</li> <li>・褥瘡予防に関する情報の収集（身体状況、皮膚状態、栄養状態等の把握）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内であった褥瘡事例の対応策</li> <li>・褥瘡予防の為のマニュアル類の整備</li> <li>・職員を対象とした褥瘡予防に関する研修の実施</li> <li>・その他、当施設内の褥瘡予防の為に必要な事項 定期健康診断・ブレデンスケールを活用し、褥瘡ハイリスク者計画を随時立案・修正行った。</li> </ul>
--	--

・看取り委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 当たり前の、あるがままの生活、我が家のような生活に沿い、安らかな最後を迎える為の、様々なサービスの充実を図る事を目的とした	
(2) 看取り介護委員会の構成	① 施設長、医師、看護職員、生活相談員、介護支援専門員、管理栄養士、介護職員、その他必要と認められる職員で構成しました。
(3) 看取り介護委員会の開催	① 看取り介護委員会を、必要に応じ随時開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各職種の役割</li> <li>・看取り時の介護体制</li> <li>・看取り介護に携わる者の体制及び記録等の整備</li> <li>1 医師の指示書</li> <li>2 看取り介護同意書</li> <li>3 看取りカンファレンスの開催</li> <li>4 看取り介護計画書「変更、追加」</li> <li>5 経過観察記録</li> <li>6 臨終時の記録</li> <li>7 看取り介護終了後のカンファレンス会議録</li> </ul>
(4) 看取りに関する職員教育	① 看取り介護の目的を明確にし、死生観教育と理解の確立を図った。



<p>(5) 施設内研修会、勉強会の開催、外部研修会への積極的参加</p>	<p>① 定期的な教育、研修を実施した。          ② 新任者に対する看取り介護の教育、研修を実施した。          ③ その他必要な教育、研修があれば参加した。看取り観覧研修への参加、勉強会を通し、職員への看取りに関する知識の共有を行った。</p>
---------------------------------------	--

・運営推進委員会

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 施設運営の理解と透明性の確保</p>	<p>① 施設サービスの内容を理解した。          ② 施設生活や生活支援の実際に理解した。          ③ 「利用者や家族のニーズ」を理解した。</p>
<p>(2) 地域とのネットワーク作り</p>	<p>① 運営推進会議を通して施設の地域とのかかわりを深めた。          ② 地域住民との意見交換の場にした。          ③ 地域や地域住民が持つ「カ」や「ニーズ」を把握する場にした。</p>
<p>(3) 施設における施設の有効活用</p>	<p>① 相談・連携等がスムーズに行えるように地域の窓口となった。          ② 行政職員が持っている制度・地域状況・各種資源などの情報を提供した。          ③ 地域住民や行政職員も交えながら、利用者家族や地域住民のニーズを吸い上げ新たなサービスのあり方を検討または実施した。</p>

・接遇委員会

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 心得集の見直し</p>	<p>① 『言葉態度の心得集』の見直しを行い、文章を構成し直し、基本的接遇マナーの内容を追加する協議途中である為、来年に継続する。</p>
<p>(2) 接遇チェックシートの活用</p>	<p>① 前年度同様、接遇チェックシートの運用調整を行ない、評価対象者と評価者との確認欄とコメント欄を設けて、評価チェック以外に評価者の意見をより評価対象者に反映するように調整した。</p>

・ 認知症委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 認知症に対する理解と対応について	① 毎月 1 回、認知症のある方の現状を理解しながら対応方法を他職種で検討した結果、色々な関わり方など話し合うことができた。 ② 介護力向上委員会と連携しながら、認知力の向上を目指しました。水、排泄、歩行、常食を取り組んだ。
(2) 嘱託医（心療内科医）との連携	① 各ユニットで問題行動のある認知症の方への治療を、医務と心療内科医と連携、改善し服薬調整を行った。
(3) 認知症委員会の構成	① 看護、介護、事務所、デイサービス、ショートステイなど他職種で関わり情報が共有出来る様委員会で話し合った

・ 広報委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) ホームページの活用	① 事業所内での出来事などを、ブログを通して発信し、開かれた施設運営に努めた。 ② 地域住民が参加できるようなコンサート等の事業所行事については、掲示やご案内を差し上げて地域貢献に努めた。
(2) 広報誌の発行	① 2 ヶ月に一度広報誌を発行することにより、サービスの提供等を地域高齢者に向けて自治会回覧板などを活用させていただきながらお知らせした。

・ 口腔ケア委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 口腔ケアの充実	① 週 1 回の歯科医師と歯科衛生士による専門的口腔ケアの実施を通じて、口腔ケアに関する知識と意識を高め、統一した口腔ケアの実施に取り組んだ。口腔状態に応じたケアと用具の選定により、より効果的に実施することができた。

<p>(2) 学習会の実施</p>	<p>① 協力歯科医師の講師にて、学習会を実施し、口腔ケアの基礎知識の習得と共通の認識を高めた。</p>
-------------------	--

7. 職員研修参加状況(ふたばの森)

月	日	内容	場所	出席者
4	22	新居浜市認定調査員新任者向け研修	市内	介護職員1名
	23	第1回東予老施協 施設長研修会・総会	湯ノ浦	施設長1名、事務員1名
5	22	県老施協第1回総会・施設長研修会	松山	施設長1名
6	8	第11回愛媛県老人福祉施設大会	松山	施設長1名、介護職員2名、看護職員1名
	17	東予老施協「新任職員研修会」	湯ノ浦	介護職員1名
	27	在宅医療を担う看護力強化研修会	市内	看護職員1名
	30	新居浜市福祉施設協議会第1回スキルアップ講座	市内	相談員1名
7	6~8	2015年度ユニットケアリーダー研修	岡山	介護職員1名
	15	「福祉の職場」中堅職員研修	松山	介護職員1名
	16	第1回サービス向上研修「コミュニケーションスキルアップ」	松山	介護職員1名
	20	福祉用具・住宅改修第1回テーマ別講習会	松山	相談員1名
	28	第64回四国老人福祉施設関係者研究大会	高松	相談員1名、介護職員1名、看護職員1名
8	5	社会福祉法人セミナー	松山	施設長1名、管理栄養士1名
	11	メンタルヘルス講習会	松山	介護職員3名
	17	バリデーション入門編研修	松山	介護職員2名
	20	東予老施協事務職員研修	湯ノ浦	事務員1名
	23~26	県老施協東日本大震災被災地交流・視察	東日本	施設長1名、管理栄養士1名
9	8	施設ケアマネジメント研修会	松山	介護職員1名
	17	東予老施協第1回介護職員研修会	湯ノ浦	介護職員1名
	28	東予老施協生活相談員研修会	湯ノ浦	相談員2名
10	24	バリデーションフォローアップ研修	松山	介護職員2名
	26	東予老施協栄養士研修会	今治	栄養士1名
11	7	東予老施協第2回介護職員研修会	今治	介護職員1名
	20	東予老施協「施設長と直接処遇職員との合同研修会」	湯ノ浦	施設長1名、介護職員1名
	22	県老施協看取り研修会	松山	看護職員1名
12	8	腰痛予防対策講習会	市内	介護職員2名
	9~10	四国ブロックカントリーミーティング	松山	介護職員1名
	16	県老施協口腔ケア研修会	松山	管理栄養士1名
1	16	住民参加による防災推進研修会	松山	相談員1名
	27	高齢者施設等における感染症(HIV感染症等)に関する研修会	松山	看護職員1名
	29	県老施協臨時総会・施設長研修会	松山	施設長1名
2	3	特定給食施設等関係者研修会	西条	管理栄養士1名、栄養士1名
	8	東予老施協看護職員研修会	土居	看護職員1名
	24	東予老施協第3回介護職員研修会	湯ノ浦	介護職員1名
3	4	第2回東予老施協施設長研修会・総会	土居	施設長1名
	7	福祉用具・住宅改修第3回テーマ別講習会	伊予三島	介護職員1名
	9	県老施協第2回総会・施設長研修会	松山	施設長1名
	12	えひめ排泄ケア研究会	市内	介護職員1名、看護職員1名

## 8. 事業実施状況

月	保 健 衛 生	施 設 管 理	地域交流スペース利用状況	
4	/1~25 職員健康診断(39名) /1~24 職員検便(39名) 利用者健康診断採血(29名)	/5 受水槽清掃	/10 不在者投票10:30~ /21 運営推進会議19:00~ /24 不在者投票10:30~	/4 客谷自治会19:00~20:00(15名) /13 フラダンス練習15:40~17:00(8名) /20 フラダンス練習15:40~17:00(8名) /25 新居浜市社福祉協議会10:00~16:00(25名)
5	/14~22 入居者健康診断(29名) /31 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名)	/14 ストレッチャー修理(リコール) /17 全館ワックス /19 EV定期点検 /24 全館ワックス	/14 内部学習会「口腔ケア」(28名)	/6 客谷自治会19:00~20:30(14名) /11 フラダンス練習15:40~17:00(8名) /17 客谷川長寿会役員会10:00~14:00(40名) /18 フラダンス練習15:40~17:00(8名)
6	/30 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名)	/1 DS排煙窓修繕 /4 DS食洗機点検 /6 荷物用EV点検 /10 避難訓練	/17 内部学習会「感染対策」(36名)	/1 フラダンス練習16:20~17:40(7名) /15 フラダンス練習16:10~17:30(7名) /15 船木ケアネットワーク19:00~21:00(60名)
7	/30 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名)	/8 電気設備点検	/22 内部学習会「紙オムツ」(33名) /23 運営推進会議19:00~	/2 客谷自治会役員会19:00~20:00(14名) /12 チャリティカラオケ /13 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /20 フラダンス練習16:10~17:30(7名)
8	/31 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名)	/12 加圧ポンプ点検 /4 適水バルブ取り付け工事	/19 内部学習会「身体拘束について」(35名)	/3 フラダンス練習16:10~17:30(9名) /3 客谷自治会19:00~20:00(14名) /17 フラダンス練習16:10~17:30(7名)
9	/16 入居者レントゲン撮影16:00~ /30 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名)	/8 電気設備点検 /9 水防訓練 /29 消防設備点検 /29 浄化槽点検	/16 内部学習会「県大会、四国大会発表」(30名)	/2 客谷自治会19:00~20:30(14名) /13 客谷自治会10:00~14:00(40名) /14 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /19 旭自治会9:00~10:00(10名) /21 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /30 客谷自治会19:00~20:30(14名)
10	/5~24 職員健康診断(21名) /8 利用者健康診断採血(29名) /30~ インフルエンザ予防接種(職員38名) /31 入居者健康診断(29名) /31 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名)	/21 避難訓練		/5 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /19 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /27 船木ケアネットワーク19:00~21:00(60名)
11	/6 インフルエンザ予防接種(入居者25名) /30 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名)	/1 地域合同防災訓練09:00~ /28 EV定期点検	/11 運営推進会議19:00~ /19 内部学習会「感染症」(29名)	/1 防災訓練8:50~10:30(130名) /9 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /12 かざぐるまカラオケ大会12:30~15:30(60名) /16 フラダンス練習16:10~17:30(8名)
12	/28 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名)	/5 荷物用EV定期点検		/14 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /28 フラダンス練習16:10~17:30(8名)
1	/31 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名)	/21 電気設備点検 /23 サーバー修繕	/18 運営推進会議19:00~ /20 内部学習会「看取り」(32名)	/10 父母の会新年会11:00~14:00(20名) /11 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /18 フラダンス練習16:10~17:30(7名) /29 客谷自治会役員会19:00~20:00(14名)
2	/28 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名)			/1 フラダンス練習16:10~17:30(9名) /6 客谷自治会19:00~20:00(20名) /14 客谷1区集会19:00~20:00(20名) /15 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /20 旭自治会16:00~17:00(8名) /20 客谷2区集会19:00~20:30(17名) /23 船木ケアネットワーク19:00~21:00 /28 客谷3区集会13:00~24:30(20名)
3	/31 栄養士検便(1名)+外部委託調理員(4名)	/5 防災無線設置 /11 震災訓練10:00~ /31 消防設備点検	/15 内部学習会「防災」(29名) /23 運営推進会議19:00~	/3 客谷自治会19:00~21:00(14名) /13 客谷自治会19:00~20:00(60名) /20 旭自治会10:00~12:00(48名) /21 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /28 フラダンス練習16:10~17:30(8名) /30 客谷自治会総会19:00~20:00(8名)

# 特養利用者の概要

## (1) 利用者の状況

平成28年3月31日現在

### 保険者別入所状況

保険者別	男	女	計
新居浜市	7	22	29
合計	7	22	29

地域密着型介護老人福祉施設であることから全員が新居浜市在住者となっている。

### 在所期間の状況

期 間	男	女	計	比率(%)
3年以上～5年未満	1	11	12	41%
1年以上～3年未満	4	6	10	34%
1年未満	2	5	7	24%
合 計	7	22	29	100%

平均利用期間は24.5ヶ月となっている。

### 年齢構成

区分	65歳未満	65～74	75～79	80～84	85～89	90～100	101～	平均
男	0	1	0	3	3	0	0	83.4
女	0	0	3	4	8	7	0	85.7
合計	0	1	3	7	11	7	0	85.1

①平均年齢は約85.1歳となっている。

②最高齢者は、男性89歳、女性100歳で、最も若い利用者は、男性71歳、女性78歳である。

### 要介護度の状況 (H28年3月)

[要介護度]

介護度	年齢区分	1	2	3	4	5	合計	平均	
男性	64歳以下								
	65～69歳								
	70～74歳				1		1	4	
	75～79歳						0		
	80～84歳		1		1	1	3	4	
	85～89歳					2	1	3	4
	90以上								
女性	64歳以下								
	65～69歳								
	70～74歳								
	75～79歳				2	1	3	4	
	80～84歳			3			3	3	
	85～89歳	1		3	3	1	8	3	
	90以上		1	2	2	2	7	4	
	男 性	0	1	0	4	2	7	4.00	
	女 性	1	1	8	7	4	21	3.57	
	合 計	1	2	8	11	6	28	3.68	
	前年度実績	5	2	4	8	10	29	3.55	

平均要介護度は前年に比べて若干あがった。

## (2)入退所状況

### 利用者状況

〔月別新規入所者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男							2						2
女		1	1	1				1			1		5
計	0	1	1	1	0	0	2	1	0	0	1	0	7

〔入所前住居〕

区分	在宅	病 院			介護施設			その他施設	合計
		一般病棟	精神病棟	療養病棟	介護療養施設	老人保健施設	特別養護老人ホーム		
男		1						1	2
女	2		1				1	1	5
計	2	1	1	0	0	0	1	2	7

〔新規利用者世帯状況〕

	単身	夫婦	未婚子同居	既婚子同居	その他	合計
男		2				2
女	5					5
計	5	2	0	0	0	7

### 退所者状況

〔退所理由〕

	家庭復帰	入院継続	転居	死亡(施設)	死亡(病院)	施設移動	合計
男				1	1		2
女				5			5
計	0	0	0	1	1	0	7

〔月別退所者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男		1		1									2
女		1				1	1	1			1		5
計	0	2	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	7

7名の方が退所となり、その内死亡による退所は7人となっている。

### (3) 日常生活動作状況・生活自立度・認知症の判定

#### 日常生活動作の状況

[利用者29名]

項目	動作内容	男	女	計	項目	動作内容	男	女	計
移動	時間がかかっても介助なしに一人で歩く	1	4	5	入浴	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	0	8	8
	手を貸してもらするなど一部介助を要する	5	10	15		体を洗ってもらするなど一部介助を要する	5	4	9
	全面的に介護を要する	1	8	9		全面的に介護を要する	2	10	12
食事	やや時間がかかっても介助なしに食事する	5	7	12	着替	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	2	6	8
	おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	1	8	9		袖を通してもらうなど一部介助を要する	3	6	9
	全面的に介護を要する	1	7	8		全面的に介護を要する	3	9	12
排泄	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	2	7	9	整容	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	5	4	9
	便器に座らせてもらうなど一部介助を要する	3	7	10		タオルで顔をふいてもらうなど一部介助を要する	1	7	8
	全面的に介護を要する	2	8	10		全面的に介護を要する	1	11	12

平均介護度の改善により、一部介助が多くなっている。

#### 日常生活自立度（寝たきり度）

[利用者29名]

ランク J 生活自立	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。		
	1	交通機関等を利用して外出する。	0
	2	隣近所なら外出する。	0
ランク A 準寝たきり	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。		
	1	介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。	7
	2	外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。	7
ランク B 寝たきり	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ。		
	1	車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。	5
	2	介助により車椅子に移乗する。	6
ランク C 寝たきり	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。		
	1	自力で寝返りをうつ。	0
	2	自力では寝返りもうたない。	4

#### 認知症老人の日常生活自立度判定

[利用者29名]

項目	痴 呆 の 程 度		
正 常	認知症の症状無し		1
ランク I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。		1
ランク II	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。		
	a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	2
	b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	2
ランク III	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。		
	a	日中を中心として、上記IIIの状態が見られる。	13
	b	夜間を中心として、上記IIIの状態が見られる。	1
ランク IV	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。		7
ランク M	著しい精神症状や問題行動やあるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。		2



## (4) ケアプラン実施状況

[ケアプラン：立案状況]

項目	水分	離床	食事	整容	排泄	生きがい づくり	声かけ	居場所の確 認
人数	8	5	18	0	4	7	1	0
項目	日常生活 の援助	精神の安定	皮膚観察	医療面	姿勢保持	口腔	褥瘡 防止	運動
人数	4	2	1	1	3	29	2	7

①個々のケアプランはそれぞれ複数となっているが、その内、最も重要と思われるもの各1を挙げている。

②個々のケアプランについては、包括的自立支援プログラム方式により6ヶ月毎及び状態に応じケアカンファレンスにて見直し立案を行い、サービス計画に基づいて毎日実践し、その状況を記録している。

[ケアカンファレンス：立案人数／家族参加状況]

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
立案人数	6	13	12	5	8	7	8	4	4	12	4	5	88
家族数	4	7	5	1	5	5	7	2	2	7	1	2	48

ケアカンファレンス開催時39名のご家族が参加され、その割合は55.7%となっており本人やご家族の要望等を取り入れながらケアプランに反映させるよう努めました。

## (5) 利用者医療状況

### 疾病状況

順	疾病名	人数	順	疾病名	人数
1	便秘症	28	35	脳血管性認知症	3
2	高血圧症	17	36	狭心症	1
3	脳梗塞後遺症	11	37	アルコール性認知症	1
4	老人性認知症	16	38	アルコール性精神病	1
5	糖尿病	8	39	顕微鏡的多発動脈炎	1
6	骨粗鬆症	6	40	股関節変形症	1
7	アルツハイマー型認知症	7	41	脳性麻痺	1
8	胸椎・腰椎圧迫骨折	6	42	子宮頸がん	1
9	大腿骨頸部骨折	5	43	高脂血症	2
10	骨粗しょう症	4	44	脳挫傷	1
11	心不全	3	45	肺気腫	1
12	パーキンソン病	4	46	統合失調症	1
13	鉄性貧血症	3	47	大腸癌	1
14	変形性膝関節症	3	48	乳ガン	1
15	尿路感染症	3	49	心房細動	1
16	腰痛症	2	50	膀胱結石	1
17	胃瘻増設	3	51	心筋梗塞	1
18	心経因性膀胱	2	52	C型肝炎	1
19	肺炎	2	53	ペースメーカー	1
20	慢性腎不全	2	54	前立腺癌	2
21	変形性脊椎症	3	55	硬膜下血腫	1
22	呼吸不全	2	56	難聴	1
23	脳出血後遺症	4	57	腹部大動脈瘤	1
24	白内障	2	58	不定愁訴	1
25	うつ病	2	59	顎関節軟骨肉腫	1
26	心房細動	2	60	頸椎損傷	1
27	前立腺肥大	2	61	網膜萎縮症	1
28	症候性てんかん	2	62	腎性浮腫	1
29	DNTC	1	63	ビー小体型認知症	1
30	痛風	1	64	硬膜下血腫	1
31	腸炎	1	65		34
32	たこつぼ心筋症	1	66		
33	慢性中耳炎	1	67		
34	胆石症	1	合 計		194

現在治療中の疾病について、1人で複数の疾病を持っている方が多く、特に高齢者の特徴である、習慣性の便秘症・高血圧・脳梗塞・認知症が多くなっている。

## 受診状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均
実人数	10	8	15	12	13	11	18	5	16	11	19	16	154	12.8	0.42
延人数	13	10	19	15	19	14	22	8	20	15	22	21	198	16.5	0.54

ご家族の要望での医療機関受診は、積極的に行っている。但し急変による心臓・脳血管疾患骨折等は、当施設で対応困難である為、医療機関での治療をお願いしている。

## 入院状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均 入院人数
実人数	1	0	2	1	2	2	2	3	3	3	1	1	21	1.8	
延日数	2	0	14	9	10	39	33	32	49	19	17	2	226	18.8	0.6

状態の悪化により、本人や家族の希望で受診・入院することがあるが、家族から終末を施設で迎えたいとの要望がある場合は、説明と同意を得てターミナルケアを実施している。

## 精神科往診

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2.0
実人数	9	9	9	9	7	8	7	7	9	9	11	11	105	8.8
延人数	14	14	18	17	14	15	14	14	18	19	22	22	201	16.8

精神科医の往診が月2回あり、認知症で周辺症状がある場合は、診察を受け、その診断を処遇に生かしている。

## 歯科往診

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
回数	2	0	2	2	2	2	2	1	1	3	3	3	23	1.9
実人数	3	0	8	3	1	2	3	2	2	3	3	5	35	2.9
延人数	4	0	9	3	2	4	6	2	2	7	7	15	61	5.1

歯科医師の往診を受け、口腔治療をおもに行っていた。歯科医の往診も継続し治療が行えている。

## 施設内処置状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
内服	実人数	27	27	27	27	27	27	27	27	27	28	28	28	327
	延べ人数	2025	2100	2025	2100	2100	2025	2100	2025	2100	2170	1960	2170	24,900
注射	実人数	2	2	3	3	4	5	4	25	4	7	4	5	68
	延べ人数	8	8	12	9	13	12	8	38	5	12	5	13	143
インシュリン	実人数	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	延べ人数	60	62	60	44	0	0	0	0	0	0	0	0	226
浣腸	実人数	16	12	14	12	11	10	13	14	16	14	10	15	157
	延べ人数	29	26	19	21	19	21	24	22	26	22	19	28	276

高齢者の特徴である、習慣性の便秘症が多く、緩下剤内服調整にて排便コントロール行っているが便秘症状継続し浣腸の使用頻度が多かった。

身体合併症（心疾患、高血圧症、etc）で内服継続の利用者が増えている。

なお、経管栄養者（胃ろう：2名 鼻腔：1名 10.3%を占めている）となっている。

## (6) 身体拘束ゼロ活動

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1. 車椅子拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. チューブ拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. つなぎ服拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. ミトン型手袋による拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

今年も身体拘束ゼロについては、施設全体で取り組んでおり、身体拘束防止委員会を設置し、利用者の身体拘束を個別に検討し、福祉用具の導入や現在行われている介護を見直し、よりよいケアの実現を目指すよう努力している。委員会メンバーは・施設長・主任事務員・生活相談員・介護部長・介護副部長・看護職員・栄養管理部長・業務部長及び、グループ職員からの構成になっている。

尚、運営基準で利用者の生命又は身体を保護するため、緊急やむを得ない場合を除き、行動を制限する行為を行ってはならないと規定されており、身体拘束などを行う場合には、その対応及び時間、利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録しなければならない。また、その際は、利用者本人や家族に対して詳細な説明と十分な理解を得る必要がある。現在身体拘束は実施していない。

#### 【拘束例】

1. 車椅子拘束とは、車椅子からずり落ちたり・立ち上がったりしないようにY字型拘束帯や腰ベルトを使用する事。
2. チューブ拘束とは、点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひもなどで縛る行為。
3. つなぎ服拘束とは、脱衣やオムツはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる行為。
4. その他の拘束とは、自分で降りられないようにベッドを柵（サイドレール）で囲んだり、手指の機能を制限するミトン型の手袋をつけたり、自分の意志で開けることの出来ない居室等に隔離する行為である。

## (7) 機能訓練実施状況

個別機能訓練を行うにあたっては、ケアプランと連動しながら個別機能訓練計画に基づき機能訓練指導員、看護職員、介護職員、生活相談員、その他の職種の者が協働して計画的に実施している。また、機能回復訓練のひとつに、作業療法士が担当するリハビリテーションがあるが、これは医療行為であるために医師の情報提供書、又はリハビリ訓練の指示箋が必要なので、骨折などで入院し、退院後も当施設で継続して訓練が必要な時、又は、新規入所時においても、在宅のリハビリを継続して希望されるときは、かかりつけ医の情報提供書、又はリハビリ指示箋に基づいて実施している。

#### 〔個別訓練実施内容〕

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
機能訓練	実人数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348	
	実施延人数	##	324	##	336	##	##	##	318	344	307	302	335	3,913
	回数	26	25	24	26	26	25	27	25	27	24	24	26	305

## (8) ユニットケア実施状況

実施日	行事内容	場 所	グループ別 参加利用者数				計
			さくら	ふじ	いちよう	もみじ	
4/1	合同花見	近隣グラウンド	9	9	10	7	35
6/13	愛媛学園 和太鼓見学	愛媛学園		1		1	2
6/20	角野銭太鼓演奏	地域交流センター	5	3	3		11
9/15	似顔絵	施設内	9	3	3		15
9/18	ぶどう狩り	農園 (旧：丹原)	1	4	1		6
11/4	紅葉ドライブ	霧の森 (新宮)			3	7	10
11/19	紅葉ドライブ	霧の森 (新宮)	3	2			5
12/16	クリスマス忘年会	施設内					(未集計)
1/1	新年拝賀式	施設内					(未集計)
							0
							0
	合 計		27	22	20	15	84

## 個別ケア 実施状況

### 《さくらユニット》

(入浴実施状況： 2回/週)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
仰臥位入浴	36	40	38	40	40	36	40	38	40	40	40	40	468
座位入浴	27	30	28	30	30	30	31	27	30	30	25	30	348
自立補助入浴	27	28	27	27	28	27	27	27	28	28	26	27	327
自立入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シャワー浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	90	98	93	97	98	93	98	92	98	98	91	97	1,143

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
おやつ、バラ寿司作り	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	10	0	18
外食、買い物	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	2	0	7
ドライブ等	0	2	2	0	1	1	0	3	2	0	1	0	12
合計	0	3	5	1	1	1	8	3	2	0	13	0	37

### 《ふじユニット》

(入浴実施状況： 2回/週)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
仰臥位入浴	34	34	47	38	36	32	28	39	35	30	26	32	411
座位入浴	21	17	14	25	24	26	20	28	17	16	24	26	258
自立補助入浴	10	9	10	8	5	10	7	5	13	8	8	10	103
清拭	0	1	0	1	2	3	2	2	3	5	4	4	27
シャワー浴	10	11	10	16	18	17	13	8	4	4	8	5	124
合計	75	72	81	88	85	88	70	82	72	63	70	77	923

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
外出、買い物、外食	3	4	1	1	1	1	2	3	1	1	1	2	21
美容、理容	3	2	4	3	3	2	5	2	5	1	5	4	39

季節行事	9	0	4	0	6	11	9	2	0	0			41
お誕生会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	6	9	4	10	14	16	7	6	2	6	6	101

## 《いちょうユニット》

(入浴実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
仰臥位入浴	24	26	25	27	27	24	26	27	26	27	25	25	309
座位入浴	40	42	40	43	44	42	45	43	43	45	40	44	511
自立補助入浴	16	18	16	18	17	18	15	16	18	18	16	18	204
自立入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シャワー浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	80	86	81	88	88	84	86	86	87	90	81	87	1,024

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
美容・理容など	2	1	3	1	2	3	1	2	3	1	1	3	23
外出・外食・買い物	11	5	1	3	18	1	4	5	1	8		2	59
													0
お誕生会	1	3			2	1		1		1	1	1	11
合計	14	9	4	4	22	5	5	8	4	10	2	6	93

## 面会・外出・外泊状況

月/項目	面 会		外出 人数	外 泊	
	利用者	人数		人数	泊数
4月	101	146	2	1	2
5月	122	213		1	3
6月	105	143	2	1	4
7月	122	175	4	1	5
8月	122	278	4	1	4
9月	140	227	4	1	3
10月	153	255	5	1	4
11月	128	170	1	1	4
12月	129	177	2	1	3
1月	118	186	2	2	5
2月	121	157		1	3
3月	136	191	3	1	3
合計	1,497	2,318	29	13	43
月平均	124.8	193.2	2.4	1.1	3.6

①月平均 125回

②外出について、通院及び施設行事は除いている。

## 給食栄養状況

栄養ケアマネジメントの実施により、一人ひとりの栄養ケアプランが十分に実施されるよう、他職種協働で取り組みを行い、利用者の個別性に対応している。

## 栄養ケアマネジメント

月	ケアマネジメント実施数 (人)	低 リスク	中 リスク	高 リスク	リスク 未定	合 計
4月	29	19	9	1	0	29
5月	30	19	9	2	0	30
6月	29	22	7	0	0	29
7月	30	20	9	1	0	30
8月	29	20	8	1	0	29
9月	29	22	6	1	0	29
10月	31	23	7	1	0	31
11月	30	24	6	0	0	30
12月	29	23	5	1	0	29
1月	29	23	5	1	0	29
2月	30	25	4	1	0	30
3月	29	25	4	0	0	29
合 計	354	265	79	10	0	
月平均	29.5	22.1	6.6	0.8	0.0	

栄養ケアマネジメントによる一人ひとりへの細かいプランを立て実施している。低栄養改善への早期アプローチにて、健康増進に繋げている。

## 食事の状況

	主 食					副 食				
	普通	握食	粥食	流動	経管	普通	刻食	ミキサー	流動	経管
居 室	6	1	0	0	1	4	3	0	0	1
食 堂	15	2	2	1	1	13	6	1	0	1
合 計	21	3	2	1	2	17	9	1	0	2

## 行事食の献立状況

月 日	行 事 名	献 立
4/2	お花見	散らし寿司・鶏の唐揚げ・サバの塩焼き・菜の花和え・煮物・漬物・桜餅・果物
5/1	開設記念日	赤飯・天ぷら・白和え・潮汁・果物
5/5	こどもの日	オムライス・ビーンズサラダ・オニオンスープ・果物
7/7	七夕	七夕素麺・もち米蒸し・スナップえんどうのカレー炒め・七夕ゼリー・
7/24	土用の丑の日	うなぎ散らし・蓮根団子・すまし汁・果物
9/9	いもたき会	炊き込みご飯・芋炊き・白和え・果物・牛乳・ジュース
9/21	敬老の日	赤飯・サバの塩焼き・白味噌汁・茶碗蒸し・果物
10/16	お祭り	祝い寿司・かき揚げ・茶碗蒸し・果物
10/31	ハロウィン	ご飯・グラタン・ブロッコリーの洋風炒め・スパサラ・牛乳
11/30	実演 握り寿司	握り寿司(海老、はまち、サーモン、たまご、マグロ) 茶碗蒸し・きゅうりの三杯酢・清まし汁(茶そば)・果物
12/16	クリスマス会	散らし寿司・ミートローフ・きのこの和風スパゲティ・コンソメスープ・サイダー 寒天
12/31	大晦日	年越しそば・炒り豆腐・おにぎり・果物
1/1	お正月(祝い膳)	赤飯・ブリの照り焼き・栗きんとん・菊花かぶ・伊達巻・煮物・数の子 柚子おろし・祝かまぼこ・サケマリネ・紅白素麺の清汁・果物
1/26	実演 一人鍋	炊き込みご飯・寄せ鍋(鶏団子、たら、白菜、水菜、えのき、椎茸、生麩、人参) 焼き茄子、豚汁、ようかん
2/3	節分	巻寿司・鶏の唐揚げ・赤だし・たまごボーロ
3/3	ひなまつり	菜の花ちらし・炊き合わせ・のっぺい汁・ひなあられ

・選択食・・・・・・・・週2回(昼食に実施)

## ボランティア活動実施状況

月日	ボランティア名	人員	内 容	月日	ボランティア名	人員	内 容
4/2	介護支援ボランティア	1	傾聴	10/8	介護支援ボランティア	1	清掃
4/3	介護支援ボランティア	1	傾聴	10/13	介護支援ボランティア	1	清掃
4/24	介護支援ボランティア	1	傾聴	10/15	介護支援ボランティア	1	清掃
5/22	介護支援ボランティア	1	傾聴	10/20	介護支援ボランティア	1	清掃
6/2	介護支援ボランティア	1	清掃	10/22	介護支援ボランティア	1	清掃
6/4	介護支援ボランティア	1	清掃	10/27	介護支援ボランティア	1	清掃
6/9	介護支援ボランティア	1	清掃	10/29	介護支援ボランティア	1	清掃
6/11	介護支援ボランティア	1	清掃	11/1	介護支援ボランティア	1	清掃
6/16	介護支援ボランティア	1	清掃	11/6	介護支援ボランティア	1	清掃
6/18	介護支援ボランティア	1	清掃	11/8	介護支援ボランティア	1	清掃
6/18	介護支援ボランティア	1	傾聴	11/13	介護支援ボランティア	1	清掃
6/20	介護支援ボランティア	1	レク	11/15	介護支援ボランティア	1	清掃
6/24	介護支援ボランティア	1	傾聴	11/20	介護支援ボランティア	1	清掃
6/25	介護支援ボランティア	1	清掃	11/22	介護支援ボランティア	1	清掃
6/26	介護支援ボランティア	1	傾聴	12/3	介護支援ボランティア	1	傾聴
6/30	介護支援ボランティア	1	清掃	12/1	介護支援ボランティア	1	清掃
7/2	介護支援ボランティア	1	清掃	12/3	介護支援ボランティア	1	清掃
7/7	介護支援ボランティア	1	清掃	12/8	介護支援ボランティア	1	清掃
7/9	介護支援ボランティア	1	清掃	12/10	介護支援ボランティア	1	清掃
7/14	介護支援ボランティア	1	清掃	12/15	介護支援ボランティア	1	清掃
7/21	介護支援ボランティア	1	清掃	12/17	介護支援ボランティア	1	清掃
7/23	介護支援ボランティア	1	清掃	12/22	介護支援ボランティア	1	清掃
7/24	介護支援ボランティア	1	傾聴	12/24	介護支援ボランティア	1	清掃
7/28	介護支援ボランティア	1	清掃	1/5	介護支援ボランティア	1	清掃
8/6	介護支援ボランティア	1	傾聴	1/7	介護支援ボランティア	1	清掃
8/11	介護支援ボランティア	1	清掃	1/12	介護支援ボランティア	1	清掃
8/13	介護支援ボランティア	1	清掃	1/14	介護支援ボランティア	1	清掃
8/18	介護支援ボランティア	1	清掃	1/19	介護支援ボランティア	1	清掃
8/20	介護支援ボランティア	1	清掃	1/26	介護支援ボランティア	1	清掃
8/25	介護支援ボランティア	1	清掃	1/28	介護支援ボランティア	1	清掃
8/27	介護支援ボランティア	1	清掃	2/2	介護支援ボランティア	1	清掃
8/28	介護支援ボランティア	1	傾聴	2/9	介護支援ボランティア	1	清掃
9/1	介護支援ボランティア	1	清掃	2/16	介護支援ボランティア	1	清掃
9/3	介護支援ボランティア	1	清掃	2/18	介護支援ボランティア	1	清掃
9/3	介護支援ボランティア	1	傾聴	2/23	介護支援ボランティア	1	清掃
9/7	介護支援ボランティア	1	清掃	2/25	介護支援ボランティア	1	清掃
9/9	ハーモニカファミリー	3	おもたき会	3/1	介護支援ボランティア	1	清掃
9/10	介護支援ボランティア	1	清掃	3/3	介護支援ボランティア	1	清掃
9/14	介護支援ボランティア	1	清掃	3/8	介護支援ボランティア	1	清掃
9/15	似顔絵ボランティア	2	似顔絵	3/10	介護支援ボランティア	1	清掃
9/16	似顔絵ボランティア	2	似顔絵	3/15	介護支援ボランティア	1	清掃
9/17	介護支援ボランティア	1	傾聴	3/17	介護支援ボランティア	1	清掃
9/17	介護支援ボランティア	1	清掃	3/22	介護支援ボランティア	1	清掃
9/24	介護支援ボランティア	1	清掃	3/24	介護支援ボランティア	1	清掃
9/29	介護支援ボランティア	1	清掃	3/29	介護支援ボランティア	1	清掃
10/1	介護支援ボランティア	1	清掃	3/31	介護支援ボランティア	1	清掃
10/6	介護支援ボランティア	1	清掃				
合 計						97	



## 実施活動実施状況

実習期間	内容	人員
11/17～11/20	四国中央医療福祉総合学院	1
12/9	市役所研修	4
合 計		5

## 施設見学

日時	内容
H27. 1. 10	入所希望 2名
H27. 4. 17	入所希望 2名
H27. 5. 5	入所希望 1名
H27. 7. 9	入所希望 1名
H27. 9. 8	入所希望 3名
合 計	9名

# ショートステイふたばの森

## 総合目標及び課題

利用者及びご家族が安心して在宅生活を継続できるよう、内外部との連携を取り合い支援した。

## 1. 生活相談員

重点目標及び課題	成果等
(1) ショートステイの稼働率の維持・向上のための取り組み	年間平均稼働率 85 %を目標とし、維持向上できるように、下記内容に努めた。 ① 継続的な利用をしていただけるよう、家族・ケアマネと情報を共有し、利用者本人・家族が安心して利用できるよう努めた。 ② 緊急的な利用者の受け入れについて柔軟に対応できるように努めた。 ③ 新規利用者の受け入れ時には、綿密な情報収集を行うと共に、説明不足によるトラブルのない様に心がけた。

## 2. 介護

重点目標及び課題	成果等
(1) 個別ケアの充実	① 利用者個人の尊厳を守り、家庭の雰囲気を作り心身共に健やかに・能力に応じての自立支援を促し日常生活を送る事が出来るよう個別性・専門性の高い介護を行った。 ② 利用者の変化時には、家族及び他職種との連携を図り、早急・柔軟な対応を行った。
(2) 統一したサービス支援の提供	① 新しい取り組みの開始時には、ユニット内での相談（月 1 回のユニット会等）を行い、個人単独での判断で業務効率を優先せず、利用者本位を最優先に考えたサービス支援を行った。

<p>(3) 接遇の共通認識</p>	<p>② 介護支援専門員を中心に他職種協働で、利用者一人ひとりの生活全般の状況を総合的に把握し、本人・家族のニーズに応じたケアプランを作成し、実践・評価を行った。</p> <p>① 利用者の名前は名字で呼んだ。          ② 会話は丁寧語・尊敬語を使用した。          ③ 挨拶は笑顔でしっかりと行った。          ④ 「ありがとうございます」の感謝の気持ちを常に持ち利用者とは多く関わった。</p>																																							
<p>(4) 年間諸行事</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>行事</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>お花見</td> <td>4/2</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>外出・外食・</td> <td>6/24、6/16</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>角野銭太鼓</td> <td>6/20</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>七夕祭り</td> <td>7/7</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>夏祭り</td> <td>8/1、8/15</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>芋炊き会</td> <td>9/9</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>太鼓祭り見学</td> <td>10/16</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>紅葉見物</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>クリスマス会 忘年会</td> <td>12/16</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>新年式 初詣</td> <td>1/1 1/4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>節分豆まき 賀寿の祝い</td> <td>2/3 2/20</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>船木小学校訪問</td> <td>12/7</td> </tr> </tbody> </table>	月	行事	実施日	4	お花見	4/2	6	外出・外食・	6/24、6/16	6	角野銭太鼓	6/20	7	七夕祭り	7/7	8	夏祭り	8/1、8/15	9	芋炊き会	9/9	10	太鼓祭り見学	10/16	11	紅葉見物		12	クリスマス会 忘年会	12/16	1	新年式 初詣	1/1 1/4	2	節分豆まき 賀寿の祝い	2/3 2/20	12	船木小学校訪問	12/7
月	行事	実施日																																						
4	お花見	4/2																																						
6	外出・外食・	6/24、6/16																																						
6	角野銭太鼓	6/20																																						
7	七夕祭り	7/7																																						
8	夏祭り	8/1、8/15																																						
9	芋炊き会	9/9																																						
10	太鼓祭り見学	10/16																																						
11	紅葉見物																																							
12	クリスマス会 忘年会	12/16																																						
1	新年式 初詣	1/1 1/4																																						
2	節分豆まき 賀寿の祝い	2/3 2/20																																						
12	船木小学校訪問	12/7																																						

短期入所生活介護の利用状況

H28.3.31現在

		合計	H27. 04	H27. 05	H27. 06	H27. 07	H27. 08	H27. 09	H27. 10	H27. 11	H27. 12	H28. 01	H28. 02	H28. 03
稼働日数		366	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
平均利用者数	計	13.1	12.6	13	12.7	13.3	13.3	12.6	12.9	13.4	12.7	13.1	13.9	13.9
稼働率		81.7	78.8	81.3	79.6	82.3	81.9	79	80.6	81.7	79.4	82.3	86.4	86.7
新規利用者実人数	計	39	3	5	4	2	2	3	1	1	9	5	2	2
	男	12	1	1			1	1	1	1	2	1	1	2
	女	27	2	4	4	2	1	2			7	4	1	
利用実人数	計	—	52	53	55	57	53	51	49	54	54	56	55	54
	男	—	17	14	16	15	15	13	12	17	15	11	13	12
	女	—	35	39	39	42	38	38	37	37	39	45	42	42
介護度別														
要介護1	計	—	10	9	12	13	12	8	7	8	10	10	5	5
	男	—	2	1	2	2	3	1	1	2	1			
	女	—	8	8	10	11	9	7	6	6	9	10	5	5
要介護2	計	—	11	12	11	12	11	13	14	14	12	11	14	15
	男	—	3	2	3	2	2	2	2	3	2	1	2	3
	女	—	8	10	8	10	9	11	12	11	10	10	12	12
要介護3	計	—	12	15	13	13	12	13	13	16	17	15	17	13
	男	—	2	2	1	1	1	2	2	4	4	3	4	1
	女	—	10	13	12	12	11	11	11	12	13	12	13	12
要介護4	計	—	15	13	14	13	14	13	12	12	11	13	13	15
	男	—	7	5	6	6	6	5	5	5	5	3	3	4
	女	—	8	8	8	7	8	8	7	7	6	10	10	11
要介護5	計	—	5	4	5	6	4	4	3	4	4	7	6	6
	男	—	4	4	4	4	3	3	2	3	3	4	4	4
	女	—	1		1	2	1	1	1	1	1	3	2	2
利用延べ人数	計	4803	378	403	382	413	411	379	400	403	394	406	404	430
	男	1297	104	95	109	103	115	119	104	126	112	92	111	107
	女	3506	274	308	273	310	296	260	296	277	282	314	293	323
介護度別														
平均要介	計	3	2.8	2.8	2.9	2.9	2.9	3	3	3	3	3.1	3.2	3.2
要介護1	計	687	78	71	75	82	73	53	48	51	43	47	33	33
	男	120	14	13	20	16	20	9	10	16	2			
	女	567	64	58	55	66	53	44	38	35	41	47	33	33
要介護2	計	1067	80	91	76	83	78	97	104	94	91	82	83	108
	男	119	12	8	10	6	6	15	11	12	5	8	9	17
	女	948	68	83	66	77	72	82	93	82	86	74	74	91
要介護3	計	1267	91	112	96	98	121	77	96	113	122	115	124	102
	男	130	8	8	4	4	8	7	8	19	19	12	24	9
	女	1137	83	104	92	94	113	70	88	94	103	103	100	93
要介護4	計	1180	97	98	90	101	100	99	107	92	82	97	96	121
	男	407	46	35	38	40	46	39	36	30	35	18	19	25
	女	773	51	63	52	61	54	60	71	62	47	79	77	96
要介護5	計	602	32	31	45	49	39	53	45	53	56	65	68	66
	男	521	24	31	37	37	35	49	39	49	51	54	59	56
	女	81	8		8	12	4	4	6	4	5	11	9	10
構成比(%)														
介護度別														
要介護1		14.3	20.6	17.6	19.6	19.9	17.8	14	12	12.7	10.9	11.6	8.2	7.7
要介護2		22.2	21.2	22.6	19.9	20.1	19	25.6	26	23.3	23.1	20.2	20.5	25.1
要介護3		26.4	24.1	27.8	25.1	23.7	29.4	20.3	24	28	31	28.3	30.7	23.7
要介護4		24.6	25.7	24.3	23.6	24.5	24.3	26.1	26.8	22.8	20.8	23.9	23.8	28.1
要介護5		12.5	8.5	7.7	11.8	11.9	9.5	14	11.3	13.2	14.2	16	16.8	15.3
性別														
男		27	27.5	23.6	28.5	24.9	28	31.4	26	31.3	28.4	22.7	27.5	24.9
女		73	72.5	76.4	71.5	75.1	72	68.6	74	68.7	71.6	77.3	72.5	75.1

# デイサービスセンターふたばの森

## 総合目標及び課題

利用者一人ひとりの意思、人格を尊重し利用者の立場に立った指定通所介護事業及び指定介護予防通所事業を実施し、身心機能の維持向上や社会的孤立感の解消、家族の身体的、精神的負担の軽減を図り、利用者の在宅生活支援を目的とした。

## 1. 生活相談員

重点目標及び課題	成果等
(1) 稼働率の維持・向上の 為の取り組み	<p>年間平均稼働率 74 %の目標に対して 81.7 % (6月統合後の稼働率は 88.9%) だった。</p> <p>① 各事業所に体験利用のおすすめを行ったが、利用を前提にした話が多く、体験利用でサービスを使われるようになった利用者は 2 名だった。</p> <p>② 曜日変更や利用回数の変更等、家族や居宅支援事業所、地域のニーズに応え、利用者には異常が見られた場合は迅速に情報の提供を行った。</p> <p>③ 利用者一人ひとりのニーズ及び心身の状態を的確に把握し、地域での暮らしを支える支援を構築することに努めた。</p>

## 2. 介護

重点目標及び課題	成果等
(1) 介護 ・質の高い介護サービスの 提供	<p>平成 27 年 6 月よりデイサービスセンターふたば荘と統合し利用定員が 30 名から 35 名に増員。これを機に、それまでの集団処遇から利用者個別のニーズに対応した個別処遇に重点を置き、「利用者が何かしてもらおうデイサービス」から「自ら楽しみを発見し行動を起こせるデイサービス」へと方針転換を行った。</p> <p>① 食事 食事時の雰囲気配りに気を配り、四季折々に季節感あ</p>

	<p>ふれる食事や、行事に伴う献立を提供した。</p> <p>② 入浴 異常に十分配慮しながら、快適かつ安全に入浴できるように援助を行い、清潔の保持・心身のリフレッシュに努めた。</p> <p>③ 排泄 利用者の尊厳に十分配慮しながら、個々のペースに合わせて排泄が気持ちよく行えるよう支援し、同時に健康状態の把握を行った。</p> <p>④ 資質向上 各種研修会に積極的に参加し、知識・技術の向上に努めた。また外部研修等については、部署会にて報告し、職員全体で知識・技術を共有しサービスの質の向上に努めた。</p>
--	---

### 3. 看護

重点目標及び課題	成果等
(1) 健康管理	<p>① 利用者の健康状態を観察、把握し健康管理及び健康指導に努めた。また緊急時には家族及び主治医との連携による迅速かつ最善の対応に努めた。</p> <p>② 感染症予防の為の適切な対応および対策の徹底に努め感染の拡大を防いだ。</p>

## 【平成27年度デイサービスセンター利用状況（月別）】

	平成27年										平成28年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
前月末 サービス登録人員	54	55	102	101	97	96	95	94	94	94	96	93		
新規 サービス登録人員	2	2	49	0	0	0	0	0	1	3	1	1	59	
月末 サービス登録人員	55	102	101	97	96	95	94	94	94	96	93	90		
月間 運営日数	26	26	26	27	26	26	27	25	25	24	25	27	310	
月間 利用実人員	50	52	97	94	89	85	87	84	84	85	82	76	965	
月間 利用延人員	408	438	907	888	823	830	867	770	781	711	725	722	8870	
一日平均利用人数	15.7	16.9	34.9	32.9	31.7	31.9	32.1	30.8	31.2	29.6	29.0	26.7	28.6	
要支援1	44	43	54	55	35	40	36	34	34	39	39	41	494	
要支援2	66	45	110	112	92	90	101	76	89	78	72	75	1006	
要介護1	152	169	301	293	290	322	334	307	293	266	266	268	3261	
要介護2	44	48	204	213	201	186	191	178	180	162	171	146	1924	
要介護3	59	62	119	130	128	115	127	112	118	110	107	113	1300	
要介護4	36	66	115	80	71	72	70	59	61	51	67	72	820	
要介護5	7	5	4	5	6	5	8	4	6	5	3	7	65	
入浴情報(延べ)														
一般浴	265	279	510	548	553	531	550	488	496	499	500	483	5702	
リフト浴	62	59	196	180	131	154	158	126	135	103	110	106	1520	
食事情報(延べ)	399	408	898	883	819	830	862	769	781	711	725	721	8806	
機能訓練／機能向上						137	124	100	149	146	130	113	899	

※一日平均利用人数:28.6名(ふたば荘との統合後は31.1名)

## 【平成27年度 利用者年齢層×介護度】

利用者／介護度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	合計
65～ 69歳	計			1					1	2
	男			1					1	2
	女									0
70～ 74歳	計	1		1	2			2	1	7
	男							2	1	3
	女	1		1	2					4
75～ 79歳	計		1	4	2	2	1			10
	男			3		2				5
	女		1	1	2		1			5
80～ 84歳	計	1	3	12	3	3	1		4	27
	男			2	2					4
	女	1	3	10	1	3	1		4	23
85～ 89歳	計	2	7	8	3	3	3		1	27
	男		1	4	1	1	1			8
	女	2	6	4	2	2	2		1	19
90歳以上	計	3	3	11	5	5	10		1	38
	男	1	1	3	1	2	1		1	10
	女	2	2	8	4	3	9			28
合計	計	7 6.3%	14 12.6%	37 33.3%	15 13.5%	13 11.7%	15 13.5%	2 1.8%	8 7.2%	111 100.0%
	男	1 0.9%	2 1.8%	13 11.7%	4 3.6%	5 4.5%	2 1.8%	2 1.8%	3 2.7%	32 28.8%
	女	6 5.4%	12 10.8%	24 21.6%	11 9.9%	8 7.2%	13 11.7%	0 0.0%	5 4.5%	79 71.2%

平成28年3月31日現在

※平均年齢：85.4歳で（男性83.7歳 女性86.0歳）

最高齢者は、男性で96歳、女性で102歳

■平均介護度：2.0（要支援を除く）



# グループホームふたばの森

## 総合目標及び課題

利用者ごとの潜在的な能力に働きかけ共同生活内での役割や主体的な活動を支援し認知症状の進行を穏やかにするように努めた。

重点目標及び課題	成果等
(1) GH稼働率の維持・向上のための取組	<p>① 年間を通して稼働率 98.2 %を目標とし維持・向上できるよう下記の健康管理・事故防止に努めた結果、実稼働率は 99.4 %だった。</p> <p>② 利用者ごとの摂食量・栄養バランス、水分摂取量が確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援を行い健康管理に努めた。</p> <p>③ 体調悪化徴候時は、早期に受診を行い重篤化の回避に努めた。</p>
(2) 認知症ケアの実践（見直し）	<p>① 利用者ごとの 24 時間アセスメント・24 時間シートを作成し利用者ごとの役割や生活習慣に配慮したケアの提供を行った。</p>
(3) 事業運用の安定化（スキルアップ（人材育成）	<p>① 運用業務・日常業務についてそれぞれの職員が役割と責任を持ち、職員間の連携を図ることで事業運用の安定化をはかった。</p> <p>② 認知症内部研修及びその他の外部研修に参加した。</p> <p>③ 研修に参加した職員が研修で学んだ内容をもとに事業所内で研修を行い専門知識の習得及びスキルアップをはかった。</p>
(4) 外出への取組	<p>① 外食や買い物等、利用者の意向をくみ取り、それに合わせ外出を企画・実行しました。</p> <p>② 定期的に季節行事（花見・紅葉他）、外出・散歩等の機会を設けて行った。</p>

# GH利用者の概要

## (1)利用者の状況

平成28年3月31日現在

### 保険者別入居状況

保険者別	男	女	計
新居浜市	4	14	18
西条市	0	0	0
四国中央市	0	0	0
合計	4	14	18

地域密着型サービス事業所のため、保険者は新居浜市のみである。

### 在所期間の状況

期 間	男	女	計	比率(%)
20年以上	0	0	0	0.0
15年以上～20年未満	0	0	0	0.0
10年以上～15年未満	0	0	0	0.0
7年以上～10年未満	0	0	0	0.0
5年以上～7年未満	0	0	0	0.0
3年以上～5年未満	4	12	16	88.9
1年以上～3年未満	0	2	2	11.1
1年未満	0	0	0	0.0
合 計	4	14	18	100.0

今年度、新規入居者はなし。

### 年齢構成

区分	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	合計	平均年齢
男	0	0	0	1	1	2	0	0	4	82.7
女	0	0	0	1	3	1	7	2	14	89.5
合計	0	0	0	2	4	3	7	2	18	88.0

①最高齢者は、男性86歳、女性98歳で、最も若い利用者は、男性78歳、女性75歳である。

## 要介護度の状況

〔要介護度〕

介護度	年齢区分	自立	支援	1	2	3	4	5	合計	平均
男性	40～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	75～79歳	0	0	0	0	1	0	0	1	3.00
	80～84歳	0	0	0	0	0	0	1	1	5.00
	85歳以上	0	0	1	0	1	0	0	2	1.50
女性	40～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	75～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	80～84歳	0	0	0	0	2	1	1	4	3.75
	85歳以上	0	0	0	1	5	2	2	10	3.50
	男 性	0	0	1	0	2	0	1	4	2.75
	女 性	0	0	0	1	7	3	3	14	3.57
	合 計	0	0	1	1	9	3	4	18	3.44
	前年度実績	0	0	1	1	9	5	2	18	2.89

## (2)入退居状況

### 利用者状況

〔月別新規入居者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成27年度中 入退居なし

〔入居前住居〕

区分	在宅	病 院			介護施設			その他施設	合計
		一般病棟	精神病棟	療養病棟	介護療養施設	老人保健施設	特別養護老人ホーム		
男	3	0	0	0	0	0	0	1	4
女	8	1	2	0	0	0	0	3	14
計	11	1	2	0	0	0	0	4	18

〔新規利用者世帯状況〕

	単身	夫婦	未婚子同居	既婚子同居	その他	合計
男	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

退居者状況

〔退居理由〕

	家庭復帰	入院継続	転居	死亡(施設)	死亡(病院)	合計
男	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

平成27年度中 入退居なし。

〔月別退居者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3)日常生活動作状況・生活自立度・認知症の判定

日常生活動作の状況

〔利用者18名〕

項目	動作内容	男	女	計	項目	動作内容	男	女	計
移動	時間がかかっても介助なしに一人で歩く	3	4	7	入浴	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	2	1	3
	手を貸してもらするなど一部介助を要する	1	6	7		体を洗ってもらするなど一部介助を要する	0	5	5
	全面的に介護を要する	0	4	4		全面的に介護を要する	2	8	10
食事	やや時間がかかっても介助なしに食事する	3	8	11	着替	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	2	3	5
	おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	1	3	4		袖を通してもらうなど一部介助を要する	2	7	9
	全面的に介護を要する	0	3	3		全面的に介護を要する	0	4	4
排泄	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	2	3	5	整容	やや時間がかかっても介助なしに一人でできる	2	1	3
	便器に座らせてもらうなど一部介助を要する	2	4	6		タオルで顔をふいてもらうなど一部介助を要する	2	8	10
	全面的に介護を要する	0	7	7		全面的に介護を要する	0	5	5

## 日常生活自立度（寝たきり度）

[利用者 18名]

ランク J 生活自立	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。	
	1 交通機関等を利用して外出する。	0
	2 隣近所なら外出する。	3
ランク A 準寝たきり	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。	
	1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。	7
	2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。	5
ランク B 寝たきり	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ。	
	1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。	1
	2 介助により車椅子に移乗する。	2
ランク C 寝たきり	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。	
	1 自力で寝返りをうつ。	0
	2 自力では寝返りもうたない。	0

## 認知症老人の日常生活自立度判定

[利用者 18名]

項 目	痴 呆 の 程 度	
正 常	認知症の症状無し	0
ランク I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	0
ランク II	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。	
	a 家庭外で上記 II の状態が見られる。	0
	b 家庭内でも上記 II の状態が見られる。	0
ランク III	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。	
	a 日中を中心として、上記 III の状態が見られる。	8
	b 夜間を中心として、上記 III の状態が見られる。	5
ランク IV	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。	2
ランク M	著しい精神症状や問題行動やあるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	3

全利用者のうち94.4%の利用者の方は、ランク III以上の認知症状が観察される。

## 受 診 状 況

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均
受診人数	10	12	14	14	15	15	16	16	11	17	16	14	170	14.2	0.5
受診回数	14	27	21	19	23	29	27	38	25	37	36	38	334	27.8	0.9

入居前のかかりつけ医への受診を継続的に支援している。

## 入 院 状 況

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均 入院人数
実人数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3	0.3	
延日数	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	28	37	3.1	0.1

## 行 事

実施月	1階ユニット (どんぐり)	2階ユニット (くるみ)
4月	花見 (池田池公園)	花見 (池田池公園) 藤棚見物
5月	潮干狩り マイントピア芍薬見物	香川しらとり動物園 潮干狩り
6月	あじさい見物	あじさい見物 菖蒲見物
7月	外食 そうめん流し	外食 そうめん流し
8月	船木ふるさと夏祭り	元船木夏祭り
9月	いもたき (四国中央市) 外食	いもたき (四国中央市)
10月	太鼓台見物	太鼓台見物
11月	紅葉見物	紅葉見物
12月	クリスマス 外食 餅つき	クリスマス 外食 餅つき
1月	初詣	初詣
2月	節分	節分
3月	外食	外食